

公益財団法人可児市文化芸術振興財団・アニュアルレポート

KANI CITY ARTS FOUNDATION · ANNUAL REPORT

2024



公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

公益財団法人可児市文化芸術振興財団
アニユアルレポート 2024

もくじ

はじめに

文化芸術の位置づけが変わった

I 公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

1 役員名簿	1
2 組織体制	2
3 令和 6 年度決算状況	3

II 可児市文化創造センター運営状況

1 施設利用状況	9
2 来館者実績表	10
3 観察対応表	11

III 令和 6 年度事業報告

1 事業一覧	12
2 鑑賞体験促進事業 事業報告	15
3 まち元気・市民交流促進事業 事業報告	27
4 共催事業 事業報告	58
5 その他公益目的事業 事業報告	63
6 新聞掲載記事	64
7 アーラフレンドシップ会員集計表	65
IV 施設概要	66

はじめに

日ごろは、市民の皆様をはじめとする関係各位には、可児市文化創造センター・アーラの活動に変わらぬご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和6年度は、「清流の国ぎふ」文化祭2024が岐阜県で開催されましたが、アーラにおいても多彩な文化芸術イベントが開催され、市民文化活動の活性化が更に図られたのではないかと思います。

こうした中、アーラでは市民のたくさんの笑顔に寄り添える「えがおの劇場」づくりを目指し、行政や学校、企業、各種団体と連携して、「ala まち元気プロジェクト」を引き続き推進いたしました。「みんなのディスコ」や「オープン・シアター・コンサート」など特徴ある事業を積極的に展開し、文化芸術が持つ社会包摂機能を生かしながら、人と人のつながりや、生きる活力の創出を目指しました。

また、音楽や演劇、伝統芸能、映画などの多分野に渡る事業を実施することで、市民に良質な文化芸術に触れる機会を提供するとともに、「アーラ・イルミネーション」を4年ぶりに復活させることができました。幅広い市民の皆様のご要望にお応えできたと考えております。

こうした1年間の成果や運営状況などを本冊子にまとめましたので、ぜひご高覧いただき、ご意見、ご感想などお寄せいただければ幸いです。近年は、人件費や物価の高騰などにより劇場経営の環境が益々厳しさを増しております。令和7年度は現在の指定管理期間の最終年度となりますが、市民の自慢の施設としてあり続けることができるよう、コスト削減や収入増などによる経営の安定化を目指して努力を続けてまいりますので、今後も変わらぬご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和7年8月

公益財団法人 可児市文化芸術振興財団

理事長 肥田 光久

文化芸術の位置づけが変わった

可児市文化創造センター・アーラ館長 篠橋義朗

令和6年10月、11月に岐阜県が開催した「清流の国ぎふ」国民文化祭2024(キャッチフレーズ「ともに・つなぐ・みらいへ～清流文化の創造～」)の閉会式で、古田前岐阜県知事は「清流の国ぎふ文化祭2024は本日をもって閉会しますが、文化の持つつながりやひろがり、そしてその力に改めて思いを致し、新たな暦(とき)をともに刻んでいきたい。」と宣言されました。国レベルのこのイベントで文化芸術の力を強く評価されたことは、アーラにとっても心強く、印象に残るものでした。まさに文化芸術基本法に謳われた趣旨に合致するものであり、アーラが実践してきたまちづくりと文化芸術の関係が間違っていなかったと評価してよいと思います。

令和6年度は可児市からの指定管理業務の4年目の年であり、単年度ではマイナス決算となりましたが、5年間という指定期間の中においては、おおむね順調な運営であったと思います。文化芸術にとっては、単年度では評価しにくく、アーラが目指す「人間の家」「笑顔の劇場」という社会包摂的経営の方向に変化はなく地道に継続してきたことを評価すべきであると思います。しかし物価や電気料金の高騰、人件費の上昇等、アーラを取り巻く経営環境は年を追って厳しさが増しています。今後の指定管理者指定を継続していくために、経営内容やその根幹である事業内容を一層プラスアップしていくことが求められます。

I 公益財団法人可児市文化芸術振興財団の概要

1 役員名簿

(令和7年3月31日現在)

[理事]

理 事 長	肥 田 光 久	可児市副市長
専 務 理 事	篠 橋 義 朗	可児市文化創造センター館長
常 務 理 事	各 務 則 行	可児市文化創造センター事務局長
理 事	澤 野 親 司	元NPO法人alaクルーズ理事長
理 事	高 島 勝	可児市ボランティア連絡協議会会長
理 事	藤 田 幸 夫	可児商工会議所会頭

[監事]

監 事	星 野 京 子	元可児市教育委員
監 事	渡 邊 和 幸	公認会計士

[評議員]

評 議 員	伊 佐 治 晃	可児市小中学校校長会長
評 議 員	各 務 真 弓	NPO法人可児市国際交流協会事務局長
評 議 員	糟 谷 光 昭	可児市自治連絡協議会会員
評 議 員	嶋 崎 友 美	可児市PTA連合会子育て委員長
評 議 員	武 井 祐 子	可児交響楽団団長
評 議 員	谷 口 公 一	株式会社ケーブルテレビ可児代表取締役社長
評 議 員	玉 置 浩 司	可児市地区センター連絡協議会副会長
評 議 員	田 牧 茂 樹	元東濃信用金庫専務理事
評 議 員	津 田 敬 一	可児市民第九合唱団顧問
評 議 員	成 松 誠 一	可児市文化協会会长
評 議 員	堀 部 好 彦	可児市教育長
評 議 員	吉 鷹 奈 津 子	ピアニスト

2 組織体制

(令和7年3月31日現在)

役員

理事会 理事長 肥田 光久

理事 5名

監事

監事 2名

評議員会

評議員 12名

事務局

館長 篠橋 義朗

事務局長 各務 則行

総務課長 酒井 宜規

総務係長 (酒井 宜規)

是枝 顕

橋本 加永子

顧客コミュニケーション室長 坂崎 裕二

顧客コミュニケーション係長 (坂崎 裕二)

齋藤 英子

4名

河合さつき

館林 史佳

事業制作課長 小川 省吾

まち元気係長 澤村 潤

中尾 栄治

半田 将仁

5名

事業制作係長 渋谷 江厘

松浦 正和

小谷 猛

舞台技術課長 山崎 昌伸

舞台技術課長補佐兼舞台技術係長 加藤 元基

今野はるか

8名

池田 勇人

吉田 敦

小平 定幸

※ () は兼務

合計24名

各課の役割

総務課

人事、経理、契約、文書管理、規程類の管理、理事会・評議員会の事務、その他庶務

施設の維持管理

顧客コミュニケーション室

広報・宣伝（ホームページ・チラシ・ポスター・ala TIMES等）、チケット管理、アーラフレンドシップ会員管理、プランディング、専門家育成、市民ボランティア組織育成・支援、貸館、情報コーナーの管理

事業制作課

鑑賞型・創造型事業の実施、講座系事業の実施、アウトリーチの実施、市民の文化芸術活動支援

舞台技術課 【舞台】

舞台機構の管理・操作、自主事業における舞台監督

【照明】舞台照明設備の管理・操作、自主事業における照明プラン・オペレート

【音響】音響設備の管理・操作、自主事業における音響プラン・オペレート

3 令和6年度決算状況

貸借対照表

令和7年3月31日現在
(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金預金	28,395,157	26,186,568	2,208,589
現金	1,111,420	982,120	129,300
普通預金	27,283,737	25,204,448	2,079,289
現金預金合計	28,395,157	26,186,568	2,208,589
(2) その他流動資産			
未収金	32,497,812	66,399,939	△ 33,902,127
前払金	655,578	1,308,396	△ 652,818
仮払金	14,316,300	14,318,400	△ 2,100
商品	910,488	911,592	△ 1,104
その他流動資産合計	48,380,178	82,938,327	△ 34,558,149
流動資産合計	76,775,335	109,124,895	△ 32,349,560
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産投資有価証券	60,272,491	60,296,091	△ 23,600
基本財産積立預金	39,727,509	39,703,909	23,600
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,644,530	20,239,842	2,404,688
特定資産合計	22,644,530	20,239,842	2,404,688
(3) その他固定資産			
車両運搬具	7,004,800	7,004,800	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 6,554,238	△ 6,103,678	△ 450,560
什器備品	4,067,400	3,407,400	660,000
什器備品減価償却累計額	△ 1,870,710	△ 1,441,315	△ 429,395
預託金	33,840	33,840	0
ソフトウェア	2,269,391	1,644,298	625,093
その他固定資産合計	4,950,483	4,545,345	405,138
固定資産合計	127,595,013	124,785,187	2,809,826
資産合計	204,370,348	233,910,082	△ 29,539,734
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	45,473,030	52,533,341	△ 7,060,311
前受金	19,777,950	21,619,600	△ 1,841,650
預り金	1,216,637	2,581,308	△ 1,364,671
仮受金	127,200	0	127,200
流動負債合計	66,594,817	76,734,249	△ 10,139,432
2. 固定負債			
退職給付引当金	22,644,530	20,239,842	2,404,688
固定負債合計	22,644,530	20,239,842	2,404,688
負債合計	89,239,347	96,974,091	△ 7,734,744
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	100,000,000	100,000,000	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	15,131,001	36,935,991	△ 21,804,990
負債及び正味財産合計	115,131,001	136,935,991	△ 21,804,990
	204,370,348	233,910,082	△ 29,539,734

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	219,990	231,826	△ 11,836
基本財産運用益計	219,990	231,826	△ 11,836
事業収益			
入場料収益	47,946,300	52,412,800	△ 4,466,500
参加料等収益	603,700	477,400	126,300
講座受講料収益	661,500	811,500	△ 150,000
物品等販売収益	42,000	231,100	△ 189,100
利用料金収益	39,866,425	35,007,335	4,859,090
販売手数料収益	1,432,474	795,041	637,433
公演事業収益	14,022,990	19,992,470	△ 5,969,480
指定管理受託収益	438,000,000	438,000,000	0
文化振興事業受託収益	7,860,000	6,500,000	1,360,000
事業収益計	550,435,389	554,227,646	△ 3,792,257
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	4,800,000	5,000,000	△ 200,000
受取その他公益団体等補助金	46,153,547	51,975,000	△ 5,821,453
受取補助金等計	50,953,547	56,975,000	△ 6,021,453
受取負担金			
受取負担金	10,205,000	12,480,341	△ 2,275,341
受取負担金計	10,205,000	12,480,341	△ 2,275,341
受取寄付金			
受取その他寄付金	1,568,897	1,200,000	368,897
受取寄付金計	1,568,897	1,200,000	368,897
雑収益			
雑収益	5,271,523	3,763,574	1,507,949
雑収益計	5,271,523	3,763,574	1,507,949
経常収益計	618,654,346	628,878,387	△ 10,224,041
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	138,113,011	131,974,319	6,138,692
臨時雇賃金	4,422,163	3,865,382	556,781
福利厚生費	27,052,598	25,943,392	1,109,206
食料費	993,887	1,059,081	△ 65,194
旅費交通費	7,702,580	9,211,813	△ 1,509,233
通信運搬費	3,462,170	2,314,639	1,147,531
減価償却費	1,848,487	1,544,050	304,437
車両運搬具減価償却費	382,976	382,976	0
什器備品減価償却費	820,295	596,626	223,669
ソフトウェア償却	645,216	564,448	80,768
消耗品費	7,765,887	5,909,498	1,856,389
修繕費	4,116,007	4,567,566	△ 451,559
印刷製本費	9,092,087	9,675,585	△ 583,498
燃料費	143,143	159,466	△ 16,323
光熱水費	56,087,981	47,100,480	8,987,501
賃借料	14,404,808	15,038,865	△ 634,057
保険料	973,862	914,250	59,612
諸謝金	11,575,996	10,148,443	1,427,553
租税公課	17,440,130	17,739,213	△ 299,083
支払負担金	9,826,355	12,215,987	△ 2,389,632
支払助成金	0	900,000	△ 900,000
支払寄付金	242,306	105,456	136,850
委託費	262,833,808	274,771,838	△ 11,938,030
手数料	7,676,621	6,867,343	809,278

科 目	当年度	前年度	増減
広告料	2,952,400	2,868,800	83,600
雑費	709,489	754,592	△ 45,103
事業費計	589,435,776	585,650,058	3,785,718
管理費			
給料手当	15,595,890	13,237,406	2,358,484
臨時雇賃金	491,351	382,290	109,061
福利厚生費	3,005,845	2,565,829	440,016
食料費	1,221	1,105	116
旅費交通費	90,427	63,250	27,177
通信運搬費	74,785	65,970	8,815
減価償却費	205,975	170,448	35,527
車両運搬具減価償却費	67,584	67,584	0
什器備品減価償却費	66,700	47,040	19,660
ソフトウェア償却	71,691	55,824	15,867
消耗品費	600,123	260,356	339,767
修繕費	457,334	444,078	13,256
印刷製本費	25,909	20,493	5,416
燃料費	14,624	15,376	△ 752
光熱水費	6,231,998	4,658,289	1,573,709
賃借料	448,392	363,631	84,761
保険料	80,442	70,175	10,267
租税公課	2,002,670	1,821,087	181,583
支払負担金	647,562	768,658	△ 121,096
委託費	18,563,610	16,678,805	1,884,805
手数料	80,654	72,643	8,011
雑費	60	2,128	△ 2,068
管理費計	48,618,872	41,662,017	6,956,855
引当金繰入額			
退職給付引当金繰入額	2,404,688	2,801,157	△ 396,469
引当金繰入額計	2,404,688	2,801,157	△ 396,469
経常費用計	640,459,336	630,113,232	10,346,104
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 21,804,990	△ 1,234,845	△ 20,570,145
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 21,804,990	△ 1,234,845	△ 20,570,145
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 21,804,990	△ 1,234,845	△ 20,570,145
当期一般正味財産増減額	△ 21,804,990	△ 1,234,845	△ 20,570,145
一般正味財産期首残高	36,935,991	38,170,836	△ 1,234,845
一般正味財産期末残高	15,131,001	36,935,991	△ 21,804,990
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産期末残高	100,000,000	100,000,000	0
III 正味財産期末残高	115,131,001	136,935,991	△ 21,804,990

財産目録

令和7年3月31日現在
(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	通常釣銭他	1,111,420
	普通預金	東濃信用金庫／可児 0703355 他	運転資金として	27,283,737
	未収金	独立行政法人日本芸 術文化振興会 他	令和6年度劇場・音楽堂 等機能強化総合支援事業 補助金 他	32,497,812
	前払金	日本郵便(株) 他	令和7年度委託契約用収 入印紙 他	655,578
	仮払金	多治見税務署	消費税及び地方消費税中 間申告	14,316,300
	商品	手元保管	販売用	910,488
流動資産合計				76,775,335
(固定資産)				
基本財産	基本財産投資有 価証券	東濃信用金庫／可児	長期利付国債 他 公益目的保有財産であ り、事業の財源として使 用	60,272,491
特定資産	基本財産積立預 金 退職給付引当資 産	東濃信用金庫／可児		39,727,509
その他固定資産	車両運搬具	東濃信用金庫／可児 手元保管	トヨタ：ハイエース スズキ：エブリイ トヨタ：エスティマ 公益・収益目的事業、管 理運営共有財産である 使用割合 公益：収益： 管理運営=78:7:15	22,644,530
	車両運搬具減価 償却累計額			△ 6,554,238
	什器備品	手元保管	芝生、ゴムチップ舗装	4,067,400
	什器備品減価償 却累計額	(公財)自動車リサイ クル促進センター		△ 1,870,710
	預託金			33,840
	ソフトウェア	手元保管	給与システム Vectorworks他	2,269,391
固定資産合計				127,595,013
資産合計				204,370,348
(流動負債)				
	未払金	中部電力(株) 他	電気料金3月分 他	45,473,030
	前受金	利用者 他	令和7年度施設利用料 他	19,777,950
	預り金	多治見税務署 他	3月支払報酬源泉所得税 他	1,216,637
	仮受金	利用者	備品使用料過誤払い 他	127,200
流動負債合計				66,594,817
(固定負債)				
	退職給付引当金			22,644,530
固定負債合計				22,644,530
負債合計				89,239,347
正味財産				115,131,001

財務諸表に対する注記

公益財団法人可児市文化芸術振興財団

令和7年3月31日現在

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法（定額法）によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は、原価法であり、評価方法は最終仕入原価法で行っている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金…全職員が期末に自己都合退職するとして仮定して算出した必要額から、独立行政法人労働者退職金共済機構・中小企業退職金共済事業本部への掛金に基づき算出した退職金相当額を控除した残額に相当する額を計上している。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産投資有価証券	60,296,091	3,200	26,800	60,272,491
基本財産積立預金	39,703,909	26,800	3,200	39,727,509
小計	100,000,000	30,000	30,000	100,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	20,239,842	2,404,688	0	22,644,530
小計	20,239,842	2,404,688	0	22,644,530
合計	120,239,842	2,434,688	30,000	122,644,530

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産投資有価証券	60,272,491	60,272,491	0	0
基本財産積立預金	39,727,509	39,727,509	0	0
小計	100,000,000	100,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	22,644,530		0	22,644,530
小計	22,644,530		0	22,644,530
合計	122,644,530	100,000,000	0	22,644,530

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、額面価格及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価格	額面価格	評価損益
国債（第368回長期利付10年）	39,975,411	40,000,000	24,589
国債（第372回長期利付10年）	20,227,080	20,000,000	△227,080
合計	60,202,491	60,000,000	△202,491

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等 の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金 受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業))	(独)日本芸術文化振興会	—	42,457,000	42,457,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業))(いびしない愛)	(独)日本芸術文化振興会	—	2,441,000	2,441,000	—	一般正味財産
受取その他公益団体等補助金(「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会事業補助金) (エイブル・アート展)	「清流の国ぎふ」文化祭2024可児市実行委員会	—	1,255,547	1,255,547	—	一般正味財産
受取地方公共団体等補助金(文化芸術活動事業補助金)(いびしない愛)	可児市	—	4,800,000	4,800,000	—	一般正味財産
負担金 受取負担金(基本協定第36条 リスク分担 エネルギー価格高騰)	可児市	—	10,200,000	10,200,000	—	一般正味財産
受取負担金(紙芝居一座公演)	兼山児童館	—	5,000	5,000	—	一般正味財産
合計		0	61,158,547	61,158,547	0	—

附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

(2) 引当金の明細

財務諸表の注記に記載済みであり省略している。

II 可児市文化創造センター運営状況

1 施設利用状況

(1) 諸室稼動状況

(単位：日)

施 設	令和5年度			令和6年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	139	271	51.3%	153	276	55.4%
小劇場（虹のホール）	161	272	59.2%	169	274	61.7%
音楽ロフト	242	303	79.9%	207	302	68.5%
演劇ロフト	260	304	85.5%	220	305	72.1%
美術ロフト	198	306	64.7%	171	305	56.1%
演劇練習室	253	307	82.4%	247	305	81.0%
音楽練習室1	162	307	52.8%	193	306	63.1%
音楽練習室2	68	307	22.1%	68	306	22.2%
音楽練習室3	106	307	34.5%	133	306	43.5%
映像シアター	85	305	27.9%	104	302	34.4%
ギャラリー	155	307	50.5%	161	306	52.6%
ワークショッフルーム（洋室）	232	307	75.6%	224	306	73.2%
ワークショッフルーム（和室）	219	306	71.6%	224	306	73.2%
レセプションホール	202	307	65.8%	186	291	63.9%
合計	2,482	4,216	58.9%	2,460	4,196	58.6%
利用料金収入	35,007,335円			39,866,425円		

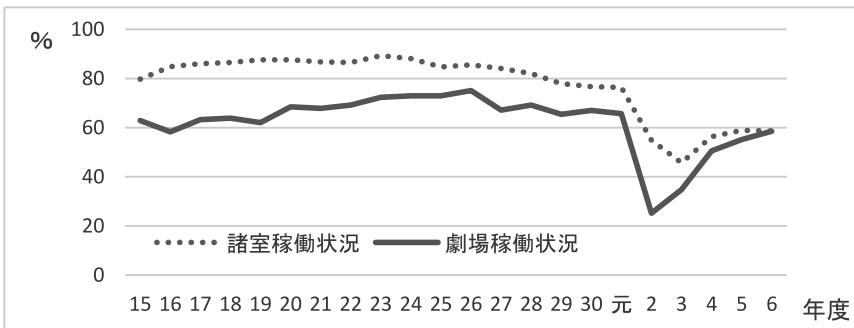
※令和6年度利用料金収入は令和5年度前受金(13,283,500円)を加え、令和7年度利用分の前受金(15,385,450円)を除いて集計しています。

(2) 劇場稼動状況

(単位：日)

施 設	令和5年度			令和6年度		
	使用日数	使用可能日数	使用率	使用日数	使用可能日数	使用率
主劇場（宇宙のホール）	139	271	51.3%	153	276	55.4%
小劇場（虹のホール）	161	272	59.2%	169	274	61.7%
劇場計	300	543	55.2%	322	550	58.5%

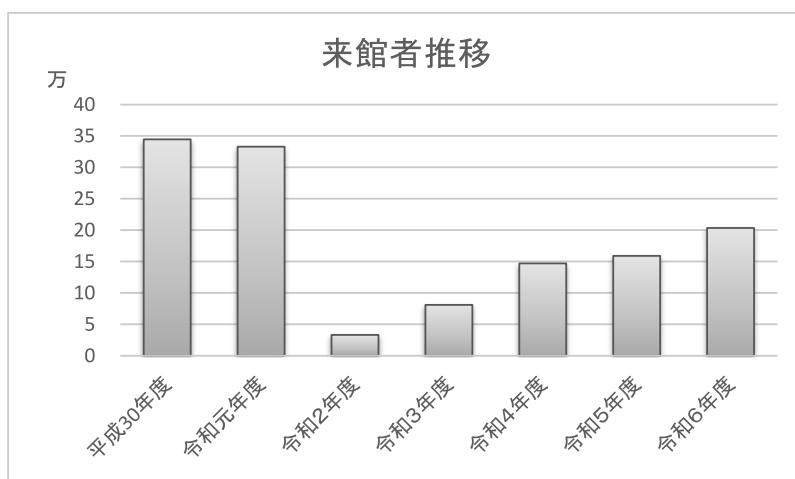
使用率推移



2 来館者実績表

(単位：人)

月	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	同期増減率
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	
4月	19,443	15,813		4,642	6,650	8,246	8,040	97.50%
5月	19,121	17,127		4,320	7,258	10,379	13,577	130.81%
6月	22,211	23,103		4,268	9,433	11,219	11,809	105.26%
7月	24,393	25,436		6,981	13,869	12,443	16,192	130.13%
8月	26,791	26,844		9,847	11,301	9,619	28,714	298.51%
9月	23,215	25,337		0	7,989	10,723	11,243	104.85%
10月	25,510	54,025	4,469	5,891	11,046	13,801	22,531	163.26%
11月	77,302	59,411	8,925	14,492	23,525	19,014	19,918	104.75%
12月	24,761	27,404	5,386	6,845	10,616	11,644	10,998	94.45%
1月	35,950	20,257	2,647	9,248	19,684	23,920	23,703	99.09%
2月	23,006	34,938	3,553	4,396	13,034	12,445	21,631	173.81%
3月	22,936	3,267	8,256	10,137	12,702	15,637	15,136	96.80%
計	344,639	332,962	33,236	81,067	147,107	159,090	203,492	127.91%
月平均	28,720	27,747	5,539	6,756	12,259	13,258	16,958	



3 観察対応表

観察日	観察者	人数	観察内容
5月24日	今渡南小学校（5年生3クラス）	110	施設見学
7月17日	中恵土キャンパス	52	舞台見学
7月26日	青梅市	5	観察
8月2日	平牧地区センター（インターン）	2	施設見学
8月7日	中央区議会自由民主党議員団	10	観察
9月11日	福井県立大学	1	施設見学
9月18日	可児市人事課（新入職員研修）	21	施設見学
10月16日	日本共産党千葉市議会議員団	1	観察
10月23日	可児市インターン（可児工業高校）	4	施設見学
10月24日	神田圭美	1	施設見学
10月31日	四条畷市議会	7	観察
11月14日	帝京大学可児小学校（2年生）	31	施設見学
11月14日	旭小学校（3年生）	55	施設見学
11月22日	岡山県玉野市社会教育課	2	観察
12月6日	名古屋芸術大学	8	施設見学
1月13日	静岡文化芸術大学	12	多文化稽古の見学
2月13日	茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団	6	観察
3月27日	日本共産党水戸市議団	3	観察
合　　計		331	

III 令和6年度事業報告

1 令和6年度 事業一覧

【公益目的事業会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団with角野隼人	主劇場	1,023	1,023	100.0%	※10,590,845	8,383,595	126.3%	15
音楽の絵本 Brillante	主劇場	908	773	85.1%	1,546,000	2,174,702	71.1%	16
チェコ・フィルハーモニー・グリストンwith吉鷹奈津子	主劇場	1,020	461	45.2%	※2,262,512	1,629,180	138.9%	17
文学座公演「オセロー」	小劇場	536	535	99.8%	※4,173,022	4,314,846	96.7%	18
かに寄席 納涼	主劇場	963	688	71.4%	1,979,100	1,990,311	99.4%	19
新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2025「新世界」	主劇場	1,023	1,023	100.0%	※9,339,109	8,283,796	112.7%	20
かに寄席 初席	主劇場	963	723	75.1%	2,124,100	1,775,951	119.6%	21
古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会	小劇場	297	261	87.9%	771,750	691,495	111.6%	22
東日本大震災復興支援 能登半島被災者支援 祈りのコンサート2025 ～被災地へ届け、私たちは忘れない～	主劇場	966	500	51.8%	479,000	479,000	100.0%	23
アーラ・キネマ俱楽部 アーラ映画祭2024	映像シアター	2,889	1,836	63.6%	1,568,150	2,278,432	68.8%	24
計		10,588	7,823	73.9%	34,833,588	32,001,308	108.9%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業-展示)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
エイブル・アート展	美術ロフト	—	518	—	※1,270,666	1,262,387	100.7%	27
計		—	518	—	1,270,666	1,262,387	100.7%	

【公益目的事業会計-まち元気・市民交流促進事業(自主事業)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
新日本フィル・カフェ	音楽ロフト	60	60	100.0%	※301,535	467,801	64.5%	28
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオーブン・シアター・コンサート	主劇場	669	442	66.1%	※510,656	802,462	63.6%	29
アーラ未来の演奏家プロジェクト2024	美術ロフト、市内小学校他	—	延べ630人	—	※315,742	679,953	46.4%	30
アーラ未来の演奏家コンサート2024	美術ロフト	109	109	100.0%				
森山威男ジャズナイト2024 featuring 矢野顕子	主劇場	909	909	100.0%	※6,278,264	5,307,849	118.3%	31
ala Collection シリーズ vol.15 「いびしない愛」可見公演	小劇場	1,477	973	65.9%	※18,451,891	23,294,229	79.2%	32
ala Collection シリーズ vol.15 「いびしない愛」東京公演	吉祥寺シアター	1,260	877	69.6%	3,578,713	9,555,505	37.5%	33
ala Collection シリーズ vol.15 「いびしない愛」地方公演	全国4会館	1,690	845	50.0%	※21,263,990	11,917,195	178.4%	34
シリーズ恋文 vol.14	小劇場	509	341	67.0%	※2,399,238	3,369,440	71.2%	35
多文化共生プロジェクト「Home」	演劇ロフト	180	155	86.1%	※741,612	1,546,717	47.9%	36
市毛良枝の音楽と語りのひととき 「自分らしさって～登山と介護とこれから～」	小劇場	251	237	94.4%	※887,770	938,717	94.6%	37
渋さ知らずオーケストラ みんなの大音楽祭	主劇場	703	510	72.5%	※5,034,286	9,217,155	54.6%	38
歌舞伎とおしゃべりの会	映像シアター	386	270	69.9%	※564,199	698,393	80.8%	39
森山威男 ドラム道場	音楽練習室他	—	延べ177人	—	※1,202,173	1,760,000	68.3%	40
おでかけ落語会	市内中学校・高校	—	1001	—	※169,828	364,695	46.6%	41
アーラみんなのピアノプロジェクト	演劇練習室他	—	延べ351人	—	※434,742	573,087	75.9%	42

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
演劇ワークショップリーダー養成講座	演劇口フット他	—	21	—	※445,113	941,841	47.3%	43
みんなのディスコ2024	3ロフト	—	252	—	※212,285	463,604	45.8%	44
平田オリザの「対話を考える」モデル授業	レセプションホール	—	33	—	※84,914	161,640	52.5%	45
ala国際演劇サマースクール	演劇口フット	—	7	—	※357,656	1,456,419	24.6%	46
アーラ・イルミネーション	水と緑の広場	—	31組	—	248,500	1,313,014	18.9%	47
親子de仲間づくりワークショップ	レセプションホール	—	延べ370人	—	※1,495,867	2,533,777	59.0%	48
ココロとカラダの健康ひろば		—	延べ423人	—				
高齢者サロンリーダー研修		—	27	—				
児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ	市内小学校他	—	延べ1331人	—	※3,453,022	3,572,300	96.7%	49
スマイリングワークショップ	総合会館他	—	延べ107人	—				
教員向けワークショップ	美術口フット	—	23	—				
紙芝居一座支援	水と緑の広場他	—	参加者12人	—	5,000	21,872	22.9%	50
劇場に関わる人のためのアーツマーケティングゼミ 「あーとま塾2024」	美術口フット	—	延べ55人	—	※772,226	1,896,924	40.7%	51
アーラまち元気部	ala館内他	—	延べ119人	—	190,000	383,090	49.6%	52
まち元気リンクワーカー養成講座	創造スタッフ室	—	延べ145人	—	※297,199	340,323	87.3%	53
可児常磐津教室 巴瑠の会 令和6年度おさらい会	小劇場	311	100	32.2%	—	—	—	54
市民活動支援	—	—	—	—	※212,285	1,230,046	17.3%	—
「清流の国ぎふ」文化祭2024 可児歌舞伎公演『三世観可児白浪十人男』	小劇場	276	276	100.0%	—	—	—	—
可児市ジュニア音楽祭2024	主劇場	1019	871	85.5%	1,141,000	694,765	164.2%	55
第43回可児市美術展	ロフト、ギャラリー他	—	出展数246点 集客数1216人	—	3,077,000	2,508,853	122.6%	56
第32回可児市文芸祭	ギャラリー他	—	応募人数 3942人	—	2,371,000	1,809,863	131.0%	57
計	—	—	—	—	76,497,706	89,821,529	85.2%	—

【共催事業等】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
ウィーンV.ルジェリウスピアノ三重奏団	小劇場	311	243	78.1%	52,710	64,563	81.6%	58
新日本フィルメンバーと仲間たち	小劇場	311	278	89.4%	94,950	140,423	67.6%	59
音楽家の集い	音楽ロフト、主劇場	1,229	655	53.3%	72,510	107,937	67.2%	60
森山良子コンサートツアーブル～My Story～ 2024	主劇場	910	862	94.7%	428,400	47,300	905.7%	61
オペラハイライト「カルメン」	主劇場	959	617	64.3%	416,295	230,333	180.7%	62
計	—	3,720	2,655	71.4%	1,064,865	590,556	180.3%	—

【公益目的事業会計-共通事業】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
広報宣伝事業	—	—	—	—	894,731	18,090,270	4.9%	63
事業制作共通事業	—	—	—	—	1,338,440	2,401,819	55.7%	—
計	—	—	—	—	2,233,171	20,492,089	10.9%	

【収益事業等会計-鑑賞体験促進事業(自主事業-公演)】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
倍賞千恵子コンサートwith小六禮次郎 ～やさしさをあなたに。思い出のページをめくつ て～	主劇場	875	534	61.0%	3,482,500	4,887,742	71.2%	25
第五回一五一会世界大会&BEGINコンサート	主劇場	971	956	98.5%	6,435,000	5,583,983	115.2%	26
計	—	1,846	1,490	80.7%	9,917,500	10,471,725	94.7%	

【施設管理・貸館事業会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
施設管理・貸館事業	—	—	—	—	42,180,330	259,878,281	16.2%	—
情報コーナー整備事業	—	—	—	—	—	349,629	—	—
計	—	—	—	—	42,180,330	260,227,910	16.2%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

【法人会計】

事業名	会場	入場可能席数	集客数	集客率	収入額	支出額	収支比率	掲載頁
財団運営管理事業	—	—	—	—	450,359,321	225,356,612	199.8%	—
文化芸術調査・研究事業	—	—	—	—	※297,199	235,220	126.3%	—
計	—	—	—	—	450,656,520	225,591,832	199.8%	

注) 公益法人会計のための事業への按分前の収支である。

合計	618,654,346	640,459,336	96.6%
----	-------------	-------------	-------

注) ※印の事業の収入には(独)日本芸術文化振興会助成金(44,898,000円)、清流の国ぎふ文化祭実行委員会(380,547円)、「清流の国ぎふ」文化祭可児市実行委員会(875,000円)、可児市(4,800,000円)が含まれている。

2 鑑賞体験促進事業 事業報告

事 業 名

佐渡裕&新日本フィルハーモニー交響楽団 with 角野隼斗

目 的 日本を代表するオーケストラの一つであり、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートを開催することにより、市民が本格的クラシックに触れる機会を提供する。継続して新日本フィルによるコンサートを行うことで、新日本フィルというオーケストラ自体も身近な存在として親しみを持ってもらう。

集 客 数 1,023 人 席数 1,023 集客率 100.0% 会場 主劇場

開 催 日 時 令和6年4月14日（日）16時開演

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 7,000 円 25 歳以下 3,500 円

指揮：佐渡裕

出 演 者 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団
ピアノ：角野隼斗

市 民 参 加 フロントスタッフ

地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団と音楽監督・佐渡裕によるコンサート。ソリストにはジャンルを超えて活躍するピアニスト・角野隼斗を迎えて、チャイコフスキイのピアノ協奏曲第1番ほかを演奏した。

【プログラム】

事 業 内 容 チャイコフスキイ／ピアノ協奏曲第1番 作品23、交響曲第5番 作品64

【関連企画】

リハーサル見学&デザートセット

普段見ることができないオーケストラのリハーサルを見学後、じゃばんサンドイッチ特製のデザートとコーヒーを提供した。

経 費 状 況 収入 10,590,845 円 支出 8,383,595 円 収益率 126.3%

アンケート 結 果

- すべての人達から目が離せない感じで見入ってしまった。すばらしい！！こんな演奏がみれて本当に最高でした。とにかく、力強さがみなぎっていた。角野さん、細くてびっくりしたけど、よく動く指が踊ってるように身体も踊っていた。これでよかったです！また来て下さいね。
- 本格的なオケのコンサートは初めて拝見しましたが圧倒的迫力で楽しめました。角野隼斗さんとのコラボも凄く良かったです。また是非アーラでコラボして欲しいです。リハーサルにも参加しましたがとてもお得で楽しめました。また参加したいですね。佐渡裕さんと新日フィルは来年も是非コンサートして下さい。

成 果 今をときめく角野隼斗が出演するとあってチケットが発売日当日に完売した。公演の満足度も非常に高く、94%の人が「大変良い・良い」と回答した。市外からの来場者が7割を越え、アーラのブランディングという点で非常に効果があった。リハーサル見学も30席全てが発売日当日完売で、可児市近郊だけでなく、関東や関西方面からも参加者があった。リハーサル見学終了後には佐渡氏や角野氏との記念撮影やコメントをもらう機会もあり、ファンにとっては貴重な交流の場となった。



事業名

音楽の絵本 Brillante（ブリランテ）

目的 0歳から楽しめるクラシックコンサートで、親子が対等な立場でコンサートを楽しむことが目的。このコンサートの体験が、豊かな親子コミュニケーションを発展させていくきっかけとなることを目指す。

集客数 773人

席数 908

集客率 85.1%

会場 主劇場

開催日時 令和6年5月12日（日）14時開演

チケット 全席指定 2,000円

出演者 ズーラシアンプラス（金管五重奏）、サキソフォックス（サックス四重奏）、弦うさぎベース（ピアノ）

市民参加 フロントスタッフ

親子で楽しめる本格的なクラシックコンサートを「母の日」に開催した。

【プログラム】

【第一部】

さくら幻想曲／三つの小作品より／交響組曲 第1楽章 ロンド／10人のインディアン／トランペットラブレター

【第二部】

ハイ・ホー／マンボNo.5／ゆりかごの唄／与作／ルパン三世のテーマ／ラプソディ・イン・ブルー

【アンコール】

こげよマイケル

母の日のプレゼント用として、終演後に中学生以下の子どもを対象にカーネーションを配布した。

事業内容

経費状況

収入 1,546,000円

支出 2,174,702円

収益率 71.1%

アンケート結果

・とてもよかったです。どうぶつさんがとてもすごいえんそうをしていたので、かんどうしました。つぎのえんそう、まってます。

・初めてサキソフォックスを生で見れて嬉しかったです！小さい頃からズーラシアンプラスの公演やDVDなどを見て憧れていて、中学生になった今年、吹奏楽部に入りました。まだ楽器は決まってないですが、アルトサックスがやりたいと思っています。

成績

チケット料金を、これまでの一括1,500円から2,000円に値上げした。昨年よりも集客数は減少したものの、懸念されたほどの影響はなく、結果的には約2割の増収となった。企画内容は、以前のアンケートにリクエストのあった「サキソフォックス」を選び、ほぼ金管楽器によるジャジーでパワフルなプログラムで、会場全体のノリも良かった。コロナ明けで初となる開場前の「ファンファーレ」も行い、終演後の握手会と合わせて、劇場はファンの熱気であふれていた。



事業名

チェコ・フィルハーモニー・ゾリストン with 吉鷹奈津子

目的的 チェコ・フィルハーモニー・ゾリストンと地元ピアニストの吉鷹奈津子による、コンサート。近年のコロナ禍による公演見送りの後も市民からも開催希望する声が挙がっており、質の高いクラシック音楽の鑑賞機会を提供し、文化芸術の高揚を図る。

集客数 461人 席数 1,020 集客率 45.2% 会場 主劇場

開催日時 令和6年6月2日（日）14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 吉鷹奈津子（ピアノ）、チェコ・フィルハーモニー・ゾリストン オタ・バルトシュ（ヴァイオリン）、ヤラスラフ・ボンヂエリーチェク（ヴィオラ）、フランティシェク・ホスト（チェロ）

市民参加 フロントスタッフ

事業内容 チェコを代表する名門オーケストラ「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」の弦楽トップメンバーで構成された「チェコ・フィルハーモニー・ゾリストン」に地元ピアニストの吉鷹奈津子が共演しコンサートを実施した。広報誌の表紙に吉鷹奈津子氏を掲載し、パッケージチケットに追加して購入できるホームタウン・トッピング対象とした。また、「私のあしながおじさん」制度を本公演にも適用した。

【プログラム】

ドヴォルザーク・ファンタジー

ベートーヴェン／ロマンス 第2番 へ長調 作品50、シューベルト／アヴェ・マリア、
シューマン／トロイメライ、山田耕筰／からたちの花、サン・サーンス／白鳥、エルガー／愛のあいさつ、越谷達之助／初恋、ブラームス／ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 作品25

経費状況 収入 2,262,512円 支出 1,629,180円 収益率 138.9%

アンケート結果

- 吉鷹さんの演奏している姿、ピアノの音色を久しぶりに聴けて嬉しかった。またゾリストンの方々のドヴォルザークの三重奏を聴いて、別格に感じくぎづけでした。
- チェコを訪れたことがあり、宮殿見学をした後のコンサートが忘れられない思い出です。その時のことを思い出させる演奏で懐かしく感じました。

成 果 固定客が高齢化し、集客が減少傾向にある中、上記の工夫の成果もあり、集客数が前回、前々回よりも多く、目標を上回ることができた。また25歳以下の集客数が高い値となり、若年層のお客様にクラシック公演を届けることができた。アンケート回答者による満足度も97%と高い結果となった。今回、本公演は日本芸術文化振興会の補助を受けられたため、収入が上回る結果となった。



事業名

文学座公演
「オセロー」

目的 平成20年にアーラと「地域拠点契約」を結び、今年で16年目を迎える文学座の作品を気軽に鑑賞できる機会を提供する。

集客数 535人 席数 536 集客率 99.8% 会場 小劇場

開催日時 令和6年7月12日（金）18時開演
13日（土）13時開演

チケット 全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円

出演者 石川武、高橋ひろし、若松泰弘、浅野雅博、横田栄司、石橋徹郎、上川路啓志、柳橋朋典、千田美智子、増岡裕子、萩原亮介、sara、河野顕斗

市民参加 フロントスタッフ

事業内容 ヴェニス公国に仕える将軍・オセローは、元老院議員・ブラバンショの娘・デズデモナと愛し合い、ブラバンショの反対を押し切り、結婚をする。一方、オセローの忠臣であるイアーゴーは自分ではなく、キャシオーが副官に任命され、オセローへ恨みを持っていた。憎悪と嫉妬を抱くイアーゴーの巧妙な策略により、物語が複雑に絡み合い、オセローとデズデモナは破滅へと追い込まれていく…。

作／ウィリアム・シェイクスピア、訳／小田島雄志、演出／鶴山仁

経費状況 収入 4,173,022円 支出 4,314,846円 収益率 96.7%

アンケート結果

- ・シェイクスピアの面白さ、むずかしいと思っていましたが、すばらしい舞台でした。感動しました。
- ・この距離でこんなに素晴らしいオセローを観られて最高です！！とても観やすかったです。機会あれば、また来たいです。
- ・とても満足のいく公演でした。3時間もの長い公演と思ってましたが、最後まで気が抜けず見終わりました。素晴らしい公演を近くで鑑賞できるのは、うれしいです。

成 果

名作中の名作とは言え、長尺の古典としてやや難解なイメージもあるシェイクスピアの『オセロー』だったが、舞台復帰が切望されていた横田栄司主演、すでに外部ミュージカル作品で活躍している大型新人saraのヒロイン役大抜擢という事で、必見の舞台作品として宣伝をした結果、両日とも完売となった。舞台内容も期待以上の高評価を得られ、観客の満足度も高かった。東京でもなかなか観られない質の高い作品を、地元可児の、舞台と客席の距離が近く一体感の高い劇場で観劇できたという事で、シビック・プライド的な満足度も大変高い公演となった。



事業名

かに寄席 納涼

目的 「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。
また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。

集客数 688人 席数 963 集客率 71.4% 会場 主劇場

開催日時 令和6年8月17日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 林家正蔵、柳亭小痴楽、田辺いちか、笑福亭茶光、林家ぽん平（前座）

市民参加 フロントスタッフ

【番組】

笑福亭茶光「田楽喰い」
柳亭小痴楽「堪忍袋」
田辺いちか「羽子板娘」
林家正蔵「おすわどん」
林家ぽん平（前座）「松竹梅」

【関連企画】

- ・会場演出として前日からホワイエに「のぼり」を設置した。
- ・アーラオリジナル手ぬぐいを製作し販売、バースデーサプライズとして、誕生日の来場者に手ぬぐいとバースデーカードを進呈した。

経費状況 収入 1,979,100円 支出 1,990,311円 収益率 99.4%

アンケート結果
・名古屋まで出かけなくても近郊で寄席が聞けるということはとても良いと思う。年2回の恒例かに寄席はとても楽しみにしている行事です。落語に興味を持ち出したら、ぜひ孫達にも生の落語を聞かせたいと思う。是非長く続けて頂くよう願っています。
・今日誕生日のお祝いの手拭いを館長のお名前で頂きました。大変粋なはからい痛み入りました。多分他の皆様もこんなことをしてもらったら物凄く嬉しいと思います。是非?!必ず!（笑）続けてください。

成 果
テレビ等で出演機会の多い林家正蔵の影響もあってか、昨年同様に高齢層のリピーターが多い中にも「あしながおじさん」制度を利用して来場する小学生の姿もあった。新規の客層の幅も広がりつつある。引き続きテレビでの露出が多い人気落語家と実力家のキャスティングのバランスを注視しながら、既存事業からも集客が望めるように、「歌舞伎とおしゃべり」や「おでかけ落語」などで初めて落語に触れた人が劇場に足を運ぶ機会としたい。



事業名

新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2025「新世界」

目的 日本を代表するオーケストラの一つであり、アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートを開催することにより、市民が本格的クラシックに触れる機会を提供する。継続して新日本フィルによるコンサートを行うことで、新日本フィルというオーケストラ自体も身近な存在として親しみを持ってもらう。

集客数 1,023人 席数 1,023 集客率 100.0% 会場 主劇場

開催日時 令和7年1月13日（月・祝）16時開演

チケット 全席指定 一般 7,000円 25歳以下 3,500円

出演者 指揮：沼尻竜典
管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団
ピアノ：上原彩子

市民参加 フロントスタッフ

地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団によるニューイヤー・コンサート。令和4年8月に出演予定だった指揮者・沼尻竜典とピアニスト・上原彩子の組み合わせで新年にふさわしい華やかな曲目とした。

【プログラム】 ラフマニノフ／ピアノ協奏曲 第2番

ドヴォルザーク／交響曲 第9番「新世界より」

事業内容

【関連企画】リハーサル見学&デザートセット

普段観ることができないオーケストラのリハーサルを見学した後、じゃぱんサンドイッチ特製のデザートとコーヒーを楽しむ企画。

1月13日（月・祝）13時15分～15時15分 会場：じゃぱんサンドイッチ 参加者30人 参加料1,500円

経費状況 収入 9,339,109円 支出 8,283,796円 収益率 112.7%

アンケート結果

- ・今年もすばらしい演奏が聴けてよかったです。ニューイヤー・コンサートに来ると今年も年が明けたなあと思います。
- ・素晴らしいかったです。本物のコンサート、聞きごたえたっぷりで終わってしまうのがもったいなかったです。
- ・初めてリハーサルを見学したが、大変よかったです。音楽をより身近に感じた。

成績

令和4年の新日本フィル サマー・コンサートが中止となったため、同じ出演者でニューイヤー・コンサートを開催した。曲目は当初演奏予定だったラフマニノフのピアノ協奏曲第2番と、ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」。ヨハン・シュトラウス・ファミリーの曲が主体だったこれまでのニューイヤー・コンサートとは異なる趣向のプログラムで、アンコールには「ラデツキー行進曲」を演奏しニューイヤー・コンサートらしく華やかに締めくくった。公演の満足度も非常に高く、95%の「大変良い・良い」との回答が得られた。



事業名

かに寄席 初席

目的 「楽しむ」をテーマとし、若者からお年寄りまで幅広く人気を集める落語を公演し、来場者に大いに笑いを楽しんで頂く。
また、『納涼』『初席』と2回開催し、恒例行事化することで、可児市やアーラへの親しみ、季節感が感じられる催しを目指す。

集客数 723人 席数 963 集客率 75.1% 会場 主劇場

開催日時 令和7年1月18日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 三遊亭好楽、古今亭菊之丞、立川吉笑、鏡味味千代（太神楽）、三遊亭げん馬（前座）

市民参加 フロントスタッフ

【番組】

三遊亭好楽「紙屑屋」
古今亭菊之丞「火炎太鼓」
立川吉笑「ぶるぶる」
鏡味味千代（太神楽）
三遊亭げん馬（前座）「まんじゅう怖い」

【関連企画】

- ・会場演出として前日からホワイエに「のぼり」を設置した。
- ・アーラオリジナル手ぬぐいを製作し、販売した。
- ・着物での来場者に記念品進呈、アンケート回答者に抽選で出演者サイン色紙プレゼント、東濃実業高校箏曲部による、琴のロビーコンサートを行った。

経費状況 収入 2,124,100円 支出 1,775,951円 収益率 119.6%

アンケート結果
・楽しかったです。年始めに大笑いさせてもらいました。落語は毎回楽しみにしています。また夏の落語楽しみにしています。ありがとうございました。
・好天のなか、地元でのんびり落語を聴く時間は何よりのぜいたくでした。
・大変面白かった。初めて好楽さんを見られて嬉しかった。また、笑点メンバーの方や柳家わさび師匠、立川志らく師匠など呼んでいただけると嬉しい思います。

成 果
テレビ番組「笑点」メンバーである三遊亭好楽の出演も手伝い、パッケージチケットの売れ行きもよかったです。アンケートでも「初めて来た」との声も散見され、認知度の高い落語家の効果は高かったです。中トリを務めた古今亭菊之丞、真打昇進で今最も勢いのある二つ目の一人である立川吉笑といった実力派とのバランスも良く、久々の太神楽も正月に相応しい様子だった。会場は大いに盛り上がりを見せており、全体を通してテーマである「子どもから大人まで楽しめる」に加えて、おめでたい時間を提供できたのではと考えている。

手ぬぐいの売り上げが例年以上に好調で、販売ブースは賑わいを見せた。



事業名

古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

目的 可児市民に質の高い舞台芸術の鑑賞の機会を提供することにより、可児市民の芸術活動を刺激し、可児市文化創造センターの利用者の発掘、鑑賞者の育成、芸術活動へのきっかけとなることを目的とする。

集客数 261人

席数 297

集客率 87.9%

会場 小劇場

開催日時 令和7年3月15日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 3,500円 25歳以下 1,750円

出演者 風間杜夫、柳家喬太郎（ゲスト）、麻生知紗（トーク司会）

市民参加 フロントスタッフ

「名人会」としては第3回目。

ゲストに柳家喬太郎を迎え、俳優の風間杜夫による落語会を開催した。

事業内容

【スペシャルトークショー】（風間杜夫、柳家喬太郎、麻生知紗）

【落語】柳家喬太郎「転宅」

風間杜夫「火炎太鼓」

経費状況

収入 771,750円

支出 691,495円

収益率 111.6%

アンケート
結果

- ・知らない落語でしたが、好きな俳優さんが行っていると知り見てみたいなと思いました。落語を初めて見て面白かったです。小劇場で距離感が近く、表情も見やすく良かったです。また行きたいなと思いました。
- ・初めて、風間杜夫さんの落語を聴かせていただきました。独学とは思えないほど、期待以上にお上手でびっくりしました。喬太郎師匠は、さすがの流れるようなテンポの良さと、しゃべりの間が、絶妙でしたね。お2人のトークも、とても楽しく、興味深い話ばかりでした。また、是非、アーラに来てください。

成 果

ゲストに人気絶頂の柳家喬太郎を迎えるも、想定以上に当日型の売れ行きとなり、不安はあったが最終的に約9割の集客率を達成することができた。前座無し、トークからの高座という形は定着した感がある。前座の代わりにトークで客席を温められ、良い流れになっている。

また、今回入用となった見台・膝隠しを、多治見市の大日落語会から借り受け、このやり取りを通じて、大日落語会および多治見市文化振興事業団とも交流を深めることができた。本事業に限らず、今後の「落語」を通じた相互協力の発展という可能性も残せた。



事 業 名

東日本大震災復興支援 能登半島地震被災者支援 祈りのコンサート 2025 ～被災地へ届け、私たちは忘れない～

目 的 東日本大震災と能登半島地震の被災者の長く困難な復興のために、今年度も支援コンサートを開催する。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体に寄託する。

集 客 数 500 人 席数 966 集客率 51.8% 会場 主劇場

開 催 日 時 令和7年3月9日（日）14時開演

チ ケ ッ ト 全席指定 1,000 円

出 演 者 長谷川彰子（チェロ）、森浩司（ピアノ）、佐野秀典（ナビゲーター）

市 民 参 加 フロントスタッフ

東日本大震災と能登半島の被災者の心の復興を祈るコンサート。公演に関する印刷物や舞台装飾などは各企業の協賛により実施。開場／休憩／終演後に募金活動を行う。本公演の収益とお客様から頂いた支援金は、被災地の心の復興のために現地で活動している岩手・宮城県沿岸部と能登半島の被災者支援団体に寄託した。

【募金の寄託先】

気仙沼地域傾聴ボランティア「こもれびの会」、陸前高田市傾聴ボランティア「こころのもり」、公益社団法人宮城県精神保健福祉協会みやぎ心のケアセンター、能登演劇堂、Ten seeds

事 業 内 容

【プログラム】

J.S.バッハ／G線上のアリア（管弦楽組曲 第3番 ニ長調 BWV1068 より II.エア）、ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 op.69、イザイ／無伴奏チェロ・ソナタ op.28 より 第1楽章 レント・エ・センプレ・ソステヌート、ドヴォルザーク／森の静けさ、ショパン／英雄ポロネーズ 変イ長調 op.53、カタルーニャ民謡（カザルス編）／鳥の歌
【アンコール】君といた夏、翼をください

【協賛】株式会社カラビナ、株式会社松栄堂楽器 可児店、株式会社トイ・ファーム、株式会社ワンズ・プランニング、岐阜県舞台設備管理事業組合、じゃぱんSANDWICH、ハーモニーワークス、ホテルルートイン可児、丸理印刷株式会社

経 費 状 況 収入 479,000 円 支出 479,000 円 収益率 100.0%

アンケート 結 果

・「震災を忘れて欲しくない！」という能登半島被災者のニュースでの声を聞いたときに、心に言葉がささり、毎年来ようと思ったきっかけでした。東日本の震災から14年となり能登の震災も1年以上が過ぎ風化されようとしていますが、忘れないように心がけています。心に響く演奏をありがとうございました。

収益と募金額を合わせると前年以上の金額となり、本コンサートのメッセージがお客様に届いている手応えがあった。また、出演者の長谷川彰子が多治見出身ということもあり、そのフォロワーが来場してある程度の集客につながった。

成 果

例年、本コンサートを開催することで、可児市から被災地支援のメッセージを発信し、この地域のブランディング向上に寄与できている部分がある。このブランディング向上が本コンサートの重要な目的の一つなので、さらにそれを発展させることができるとよい。



事業名

アーラ・キネマ俱楽部 アーラ映画祭 2024

目的的 映画館のない可児において、多様な映画鑑賞機会を提供し、映画を通した人のつながりをつくる。映画を通して多様な人が交流し、新しい価値に出会えるコミュニティを形成する。

集客数 1,836人 席数 2,889 集客率 63.6% 会場 映像シアター

開催日時 通年（事業内容参照）

チケット キネマ俱楽部、映画祭 全席指定 一般 900円 25歳以下 450円 (4/21のみ 25歳以下料金なし)
名作映画鑑賞会 全席指定 500円

市民参加 市民有志による実行委員

【アーラ・キネマ俱楽部】全席指定 900円 25歳以下 450円

最近の映画祭での受賞等で芸術性があり、かつ集客力を兼ねる映画（邦画・洋画）、もしくは話題性のあるドキュメンタリーを上映し、年に2回程度監督や関係者のトークショーなど、ゲストとお客様と実行委員が交流できる事業も行った。

4月 21日（日）能登半島地震チャリティ上演「一献の系譜」

5月 19日（日）、20日（月）「ワン・セカンド」（4回上映）

7月 14日（日）、15日（月・祝）「ウイ・シェフ！」（4回上映）

9月 29日（日）、30日（月）「テノール！人生はハーモニー」（4回上映） 1

3月 16日（日）、17日（月）「ある一生」（4回上映）

【名作上映会】全席指定 500円

文化庁優秀映画鑑賞事業を実施した。

1月 26日（日）「独立愚連隊」「日本のいちばん長い日」 1月 27日（月）「東京流れ者」「けんかえれじい」

【アーラ映画祭】全席指定 900円 25歳以下 450円

・近年の話題性のある邦画を上映し、監督や関係者のトークショーや、映画雑談会や関連企画など、ゲストとお客様や実行委員が交流できる場を提供した。

12月 6日（金）「銀河鉄道の父」（2回上映）「ロストトケア」

12月 7日（土）「福田村事件」（※1回目）「青春ジャック 止められるか、俺たちを 2※」「Winnny」

12月 8日（日）「北極百貨店のコンシェルジュさん」「高野豆腐店の春 ※」

※上映後にアフタートークを実施した。 ゲスト：12/7 井上淳一（脚本・監督）、12/8 桂やまと（落語家・俳優）

経費状況 収入 1,568,150円 支出 2,278,432円 収益率 68.8%

アンケート結果

- ・アフタートークとてもおもしろかったです。映画の中の人が目の前にいてふしきな感覚です。
当時の雰囲気が自然で引き込まれました。今も昔もつながるかっとうが描かれていました。
(アーラ映画祭「青春ジャック」鑑賞)
- ・結末は予想がついたけど、自然と涙が出ました。全く知らなかった映画ですが、よかったです。

成 果 映画事業全体として、集客率が70%に届かなかつたが、目標の入場料収益を上回ることができた。

また、能登半島地震支援チャリティー上映も、映画祭実行委員会主導で開催でき、公共劇場としての意義を果たせた部分

があつた。

実行委員のミーティングと、キネマ俱楽部と映画祭の参加を合計すると、のべ316人の参加で、年間を通して、映画を通した地域のコミュニティ形成に寄与できた。



事業名

倍賞千恵子コンサート with 小六禮次郎 ～やさしさをあなたに。思い出のページをめくって～

目的

可児市民が求めるミュージシャンを招聘し、市民になじみ深い歌謡曲等のコンサートを楽しむ機会を提供する。

公演機会の希少な出演者を招くことでアーラでの音楽事業を価値づけ、永続的な顧客獲得につなげるものとする。

集客数 534人

席数 875

集客率 61.0%

会場 主劇場

開催日時 令和7年3月20日（木・祝）14時開演

チケット 全席指定 一般 7,000円

出演者 倍賞千恵子（歌）、小六禮次郎（ピアノ）

市民参加 フロントスタッフ

女優として活躍する倍賞千恵子が、小六禮次郎のピアノにのせて、数々の名曲を歌うコンサート。公演回数の少ない貴重なコンサートを可児市で開催した。

【プログラム】

どこかで春が／おはなはんの歌／瞳とじれば／かあさんの歌／里の秋／津軽のふるさと／下町の太陽／島原の子守歌／幸せの黄色いハンカチ／舟唄／リンゴの樹の下で／ディオコメディアモ／さくらのバラード／死んだ男の残したものは／CHIEKO／さよならはダンスの後に

【アンコール】

しあわせについて／忘れな草をあなたに

経費状況

収入 3,482,500円

支出 4,887,742円

収益率 71.2%

・初めて倍賞千恵子コンサートを聴きました。

これまで下町の太陽やさよならはダンスの後にななどのヒット曲は知っていましたが、これだけ系統だって倍賞千恵子さんの歌声を聞くことができ、感動しました。80代とは思えない、声量と歌唱力が素晴らしいと思いました。

特に、映画の映像とともに、過去から現在までの歌手としての遍歴を知ることができ最高でした。ご主人の小六禮次郎のピアノ演奏も素晴らしく、お二人の掛け合いが一層コンサートを盛り上げていました。

アンケート結果

成 果

往年の大女優が歌うとあって、客席は60歳以上の人人が8割を占めた。コンサートでは「下町の太陽」や「さくらのバラード」といったヒット曲が歌われたほか、歌謡曲や外国の歌、夫・小六禮次郎とのデュエットなど趣向を凝らしたプログラムで客席から温かい拍手が送られていた。また、歌の合間には小六との軽妙なトークやスクリーンに倍賞が出演した映画のワンシーンが映し出されるといった演出もあり好評を博した。アンケートの結果でも9割近くの人が公演について「大変良い・良い」と回答するなど、満足度の高い公演だった。



事業名

第五回一五一会世界大会&BEGINコンサート

目的的 可児市民が求めるミュージシャンを呼び、可児でポップスコンサートを楽しむ機会を提供する。また、ヤイリギターのある街可児市をPRし、文化の息吹が感じられる地域づくりを行う。

集客数 956人 席数 971 集客率 98.5% 会場 主劇場

開催日時 令和6年11月2日（土） 一五一会世界大会 14時30分開演
BEGINコンサート 17時開演

チケット 全席指定 一般 7,500円 25歳以下 3,750円

出演者 BEGIN、一五一会世界大会出場者

市民参加 フロントスタッフ

【一五一会世界大会】14:30～16:30

出場者を募集し、17組を選出し、一人5分程度で演奏を披露した。司会はBEGINの比嘉栄昇が担当した。グループ優勝は「チームあつ」、個人優勝は「楠瀬トシオ」。関連企画の可児っ子演奏発表会出場者も舞台で演奏を披露した。

【BEGINコンサート】17:00～19:15

事業内容 デビュー34年を迎えたBEGINが、誰もが知る名曲「恋しくて」「オジー自慢のオリオンビール」「島人ぬ宝」などを演奏し、終盤ではマルシャメドレーという昔の名曲「東京音頭、お祭りマンボ、好きになった人」などをつなげて30分演奏し、会場が総立ちとなつた。

【関連企画】（可児市役所・ヤイリギターと連携）

公演時に石垣島の泡盛「一五一会ラベル」の特別販売や、一五一会の展示を実施した。公演日当日に外で行うはずだった「一五一会フェス」は悪天候のため、主劇場ホワイで実施。一五一会ワークショップや、子どもの演奏発表会などを実施した。

経費状況 収入 6,435,000円 支出 5,583,983円 収益率 115.2%

アンケート結果

- ・昨年も来ましたが、73年間で一番のコンサートでした。鳥肌が立つほど素晴らしかった。
- ・世界大会、歌も演奏も曲自体もみなレベルが高くすごいと思いました。また来年も来ます！
- ・ワークショップではじめて一五一会を弾きました。ていねいでわかりやすく、とても興味を持ちました。

成 果

令和5年度も6年度も満席に近い観客（約1,000人）の入場があり、収支をみても黒字となった。全国から一五一会の名手たちが集い、一五一会の生まれた町・聖地として注目されている。ただ市内での一五一会の認知はさほど高くなく、観客の70%が市外からで、BEGINのファンの来場が多い。今回初のアプローチとして「一五一会フェス」（子どもたちや地域の演奏発表等）を実施し、一五一会がより気軽に楽しめる場を設けた。今後も市民に対して、可児市から生まれた楽器、まちの誇りとして定着するような働きかけを、市役所、ヤイリギターと協働して実施していく。



3 まち元気・市民交流促進事業 事業報告

事 業 名

エイブル・アート展 表現が生まれるまえとあと

目的
テーマに沿って選ばれた全国の障がいを持つアーティスト達による、魅力的なアート作品を展示した。ありのままの個性をキャンバスに描き出した唯一無二の世界を提示することで、見る人に感動を与え、障がい者への理解を深めると共に、多様性のあるまちづくりに寄与するものとする。

集 客 数 518 人 席数 - 集客率 - 会場 美術ロフト

開 催 日 時 令和 6 年 10 月 30 日 (水) ~ 11 月 6 日 (水) 10 時 ~ 19 時 ※休館日除く

チ ケ ッ ト 入場無料

16 年目の開催となった。

表現が生まれる《まえ》と《あと》に着目した展覧会を開催。

会場ではそれぞれのアーティストが育んできた表現の現場を、実際に使用している資料や道具などを通してご紹介。普段は見ることができない表現の舞台裏を紹介した。

事 業 内 容 【関連企画】

- ①作家・前田孝美さんによる公開制作
- ②ala × TASC ぎふ連携 みんなのオープンアトリエ
- ③ala × TASC ぎふ連携 いろんなみんなのアート展

会場入り口にてエイブル・アートグッズを扱うミュージアムショップを営業した。

経 費 状 況 収入 1,270,666 円 支出 1,262,387 円 収益率 100.7%

アンケート
結 果

- ・前田孝美さんの作品がすばらしかった。線も色も描こうと思ってかけないもの。独自のもので生きた絵の魅力があるように思いました。エイブル・アートの枠に入れずとも充分に作品として、一人歩きできるものように感じました。
- ・制作の道具や解説がおもしろかったです。オープンアトリエで子ども達が思い切り楽しませていただきました。普段、絵や工作にあまり積極的でない子もいつもと違い自分から楽しむ姿がありました。また機会があれば参加したいです。ありがとうございました。

成 果

今回は作品の制作過程をテーマにしたこと
で、単に作品の良し悪しだけでなく、障がいの
ある人が作品を作る過程を紹介し、その生活を
想像できる機会をつくり、共生社会の実現に
つながる展示ができた。「清流の国ぎふ」文化
祭 2024 の一環で実施することで、いつもより
も広域にエイブル・アート展を PR することができた。
また、オープンアトリエでは、TASC
ぎふと、ごちゃまぜアートの会と連携し、子
どもたちの自己表現の場を作ることができた。
公開制作では多くの来場者に作家の制作風景を生
で見ていただき、貴重な機会を提供した。



事業名**新日本フィル・カフェ**

目的 アーラと地域拠点契約を結んでいる新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、普段コンサートに足を運ぶ機会の少ない市民にも気軽に足を運んでもらえるコンサートを開催するとともに、演奏者との交流を通じて新日本フィルを身近に感じてもらえる機会を提供する。

集客数	60人	席数	60	集客率	100.0%	会場	音楽ロフト
-----	-----	----	----	-----	--------	----	-------

開催日時 令和6年6月16日（日） 13時開演、15時30分開演

チケット 全席自由 一般 1,500円 25歳以下 750円

出演者 新日本フィルハーモニー交響楽団メンバー ビルマン聰平、田村安紗美（以上ヴァイオリン）、桂田光理（ヴィオラ）、長谷川彰子（チェロ）

音楽ロフトで室内楽コンサートを開催し、コンサート中に演奏するとともに、演奏者と市民が交流できる場として、新日本フィルカフェを実施した。

【プログラム】

事業内容 モーツアルト／ディヴェルティメント k.138（全楽章）
ドヴォルザーク／弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」第1,4楽章
モンティ／チャルダッシュ

トークテーマ：アーラと新日本フィルハーモニー交響楽団のこれまで、音楽にまつわる思い出

経費状況	収入 301,535円	支出 467,801円	収益率 64.5%
------	-------------	-------------	-----------

アンケート結果 ・とても楽しかったです。こんなに近くで聴けるのは初めてでとても感動しました。お話しもとてもおもしろかったです。プロのお仕事って素晴らしいです。また来たいです。
・身近に演奏を聞き、それぞれの楽器の音色の美しさに感動しました。トークも楽しくきかせて頂きました。楽器の話や作曲家の話も詳しく聞きたいと思いました。本日は楽しい企画をありがとうございました。

成果

演奏以外に音楽にまつわる思い出をコンセプトとして、アーラと新日本フィルの年表を中心に、演奏家と市民がトークを交わす試みを行った。また、お題となるカードをあらかじめ準備し、話題がある程度絞ることで、演奏家に負担なくトークできるようにした。

演奏とトークの合間にはそれぞれ演奏家が席近くまで降りていき、舞台上にいる間はできない会話で盛り上がりを見せていた。「演奏者を感じられた」との感想も寄せられ、いわゆる普通のサロンコンサート、カフェコンサートとは違う距離感の企画となった。



事 業 名**新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる
オープン・シアター・コンサート**

目 的 障がい者や乳幼児とその家族など、普段劇場に足を運ぶことが難しい人たちでも来やすいコンサートとし、多様な市民が一流の演奏を楽しめる機会を作る。特に障がい者は施設や学校等、特定の場所以外に出かけることが難しく、社会的に孤立しがちなため劇場が一つの居場所となり、また社会との接点の一つとなることで社会包摂機能を持つ地域劇場としての使命を果たす。

集 客 数	442 人	席数	669	集客率	66.1%	会場	主劇場
-------	-------	----	-----	-----	-------	----	-----

開 催 日 時	令和 6 年 6 月 17 日（月）	10 時 30 分開演
---------	--------------------	-------------

チ ケ ッ ト	全席指定 500 円	前列のびのび鑑賞席 自由席 500 円
---------	------------	---------------------

出 演 者	新日本フィルハーモニー交響楽団 山川永太郎 市川和彦 伊藤駿（トランペット）、藤田麻理絵（ホルン）、山口尚人 伊藤大智 鈴木崇弘（トロンボーン）、佐藤和彦（チューバ）
-------	--

市 民 参 加	フロントスタッフ
---------	----------

事 業 内 容	障がい者や乳幼児を持つ家族など、普段劇場に足を運ぶのが難しい人たちでも来やすいクラシックコンサートを開催した。車いす席を増やしたり、寝ころんだまま鑑賞できる席をつくるなど会場のレイアウトを工夫し、ホールで音楽を楽しめる機会を提供した。 【プログラム】 グリンカ／ルスランとリュドミラ序曲 三澤慶／金管八重奏のための幻想曲 コダ－イ作曲（石川亮太編曲）／組曲「ハーリ・ヤーノシュ」より「ウィーンの音楽時計」 山口尚人／魔法の村 チャイコフスキ－／交響曲第 5 番より プッチーニ／歌劇「トゥーランドット」より「誰も寝てはならぬ」 高橋宏樹／たてがみの騎士 エリントン／キャラバン
---------	---

経 費 状 況	収入 510,656 円	支 出 802,462 円	収益率 63.6%
---------	--------------	---------------	-----------

アンケート 結 果	・生の音楽を見聞きすることは中々ないので、とても新鮮な表情が見れました。 ・リラックスして聞いていました。普段できない経験で、新鮮で良かったです。（施設からの来場者） ・すばらしい演奏会でした。普段目にしない障がい者が多いコンサートは初めてで、最初はとまどいました。幼児が動き回り、普段、自宅で窓いで聴く雰囲気のコンサートは、肩ひじ張って聴くのと違い、新鮮でした。また、機会があれば参加したいと思います。
--------------	--

成 果	昨年より来場者が 140 人以上増え、新たに 4 施設から参加の申し込みがあった。のびのび鑑賞席も完売で 1 階席はほぼ満席となり、会場はにぎやかな雰囲気となった。演奏は金管楽器 8 人による趣向を凝らしたプログラムで、クラシック音楽の醍醐味を味わってもらえたのではないかと思われた。日頃クラシックのコンサートに足を運ぶ機会の少ない人にとって本物の音楽に触れられる貴重な機会になった。
-----	--



事業名

アーラ未来の演奏家プロジェクト 2024

目的
若手演奏家が市民と直接交流し、演奏家人柄を知りながら身近に音楽を体験することにより、音楽の持つ魅力を広げる。5日間という可児滞在期間中に様々なコミュニティプログラムを展開することで、演奏家が可児市に思い入れが芽生えつつ技術研鑽の時間となることを目的とする。

集客数	公開リハーサル等630人、コンサート109人	席数	-	集客率	-	会場	美術ロフト、市内小学校他
-----	------------------------	----	---	-----	---	----	--------------

開催日時 令和6年6月19日（水）～6月23日（日）

チケット 公開リハーサル他 無料 コンサート 全席自由1,000円 25歳以下無料

出演者 篠塚友里江（クラリネット）、森浩司（ピアノ）、佐野秀典（コーディネーター）

実力派演奏家が可児市に5日間滞在し、小学校への出前授業、公開リハーサルやロビーコンサート、個人レッスンなど様々な企画を織り交ぜ、市民と交流を重ね、最終日に集大成となるコンサートを開催した。

6月19日（水）リハーサル、ロビーコンサート、公開リハーサル、ウェルカムコンサート

6月20日（木）兼山小5・6年合同ワークショップ・ミニコンサート、南帷子小5年ワークショップ（2クラス）、公開リハーサル、個人レッスン

6月21日（金）今渡南小5年ワークショップ（3クラス）+ランチタイムコンサート、公開リハーサル、トークカフェ

6月22日（土）音楽ワークショップ、ロビーコンサート、サプライズコンサート、レクチャー付き公開ゲネプロ

6月23日（日）ゲネプロ、ワンポイントレクチャー、最終日コンサート&アフタートーク

経費状況 収入 315,742円 支出 679,953円 収益率 46.4%

【演奏家より】

たくさんのお客様の一人から、いつもお洒落な恰好をして聴きに来てくれる〇〇さん」というような演奏者と客様の関係から、個人と個人のつながりができ、温かみある関係に大きな価値を感じました。演奏をすると必ず評価をされる。評価のためではなく聴いてくださる人のため、という当たり前のことを思い直すことができた。

【お客様より】

手探りの状態から音楽が出来上がっていく様子を見て、改めて演奏家のすごさがわかりました。演奏者と観客の距離が近く、音楽を身近に感じることができました。

学校ワークショップでの児童へのアンケートで、「クラシック音楽は好き?」という問い合わせに55%がとても好きとの回答に対して、「今日の音楽の授業はどうでしたか?」という問い合わせにとても楽しかったが97%となつた。普段思っているよりも音楽が楽しいと感じる場をつくることができた。中には、クラシック音楽は好きではないという子が、今日の授業はとても楽しかったと回答してくれたことは大きな成果だった。

成 果 通常のクラシックコンサートでは25歳以下のお客様が少ないが、今回は40%を超えるお客様が25歳以下だった。アウトリーチ（ワークショップ）を行った学校の子どもが数多く来てくれており、鑑賞体験につなげることができた。また演奏家とお話ししたり、写真を撮ったり、サインをしてもらったり、手紙を書いてきてくれたりと、子どもたちにとってかけがえのない思い出となったようだ。



事業名 森山威男ジャズナイト 2024 featuring 矢野顕子

目的 開館以来、恒例の森山威男を中心としたトッププレイヤーによるエネルギーッシュで迫力ある生演奏により、一般的なジャズファンに捉われずに幅広い観客層に対して魅力あるコンサートを行う。質の高い独自企画としてアーラのブランディングを担う事業とする。

集客数 909人 席数 909 集客率 100.0% 会場 主劇場

開催日時 令和6年9月12日(木) 18時30分開演

チケット 全席指定 一般 5,000円 25歳以下 2,500円

出演者 森山威男(ds)、佐藤芳明(acc)、渡辺ファイアー(as)、川嶋哲郎(ts)、田中信正(p)、相川瞳(per)、坂井紅介(b)、矢野顕子(p&vo)

市民参加 フロントスタッフ

毎年恒例のジャズコンサート。

6年度は特別ゲストとして矢野顕子が出演した。

【プログラム】

事業内容 HACHI／American Patrol／Danny Boy／Sunrise／
手鞠歌／ラーメン食べたい／浜辺の歌

【アンコール】

いもむしごろごろ／Good Bye

経費状況 収入 6,278,264円 支出 5,307,849円 収益率 118.3%

アンケート結果

- いつものメンバーに矢野顕子さんを招いて、とてもとても音楽で化学反応が起きました。毎年来ているジャズナイト。来年もまた、来るのを楽しみにしています！
- 初めてジャズナイトに参加しました。それぞれの楽器の音に心が熱くなりました。是非来年もチケットとりたいです。矢野顕子さんとの会話も最高でした。あっこちゃん、ありがとう。森山さん、ありがとうございました。

成 果

かねてから森山氏との共演を熱望していた矢野顕子がジャズナイトに出演するとあって、チケットは早々に完売となった。前半はジャズナイトのメンバーによる演奏、後半は矢野顕子を迎えて全員で演奏し、アンコールでは客席も合唱で参加するなど、ジャズナイトのファンだけでなく矢野顕子のファンも楽しめる内容となった。演奏の満足度も非常に高く、94%が「大変良い・良い」と回答した。7割近くが市外からの来場者であり、初めて来場する人も3割を占めたことから、アーラのブランディングに寄与した公演だった。



事 業 名

ala Collection シリーズ vol.15 「いびしない愛」 可児公演

アーティスト・イン・レジデンスによる作品制作を実施することで、東京一極集中の演劇創作環境に一石を投じる。「地域での制作」という特性を生かし、市民サポーターを募り、広報宣伝活動やキャスト・スタッフの日常生活のサポートなど、様々な形で作品に関わってもらう。その中で演劇を身近に感じ、一緒に創作しているという市民の実感を広げながら、より多くの市民に質の高い演劇作品を提供する。

集 客 数 973 人 席数 1,477 集客率 65.9% 会場 小劇場

開 催 日 時 令和6年10月9日（水）～10月14日（月・祝）

チ ヶ ッ ト 全席指定 一般 5,000 円 25歳以下 2,500 円

出 演 者 南沢奈央、東風万智子、佐藤祐基、内藤裕志、長江英和

市 民 参 加 フロントスタッフ

アーラが企画制作し、全国に発信する演劇公演 alaCollection シリーズの15作目。

経営が厳しくコロナ禍でいよいよ存続も危ない節工場を舞台に、経営者・喜美子と、左腕が不自由だが快活で目立つ存在姉・しおり、工場に空き巣に入った男・諫山、従業員たちを巻き込んだドラマを9月から役者・スタッフが可児市に滞在し、稽古を経て上演した。

シリーズ初の試みとして、舞台手話通訳付き公演回を設けた。（10月12日（土）14:00開演の1回）、影アナウンス手話通訳有（地元通訳者）

事 業 内 容 公演初日・2日目に演出と役者が登壇してのアフタートーク開催の他、4・5日目には終演後にホワイエにて制作過程の解説や、お客様と感想を共有する空間として「舞台の魅力発見カフェ」を開催しフリードリンクでは物語のキーとなるポカリスエットを提供した。

【関連企画】

- ・「マキノノゾミ 戯曲を読むワークショップ」 令和6年8月31日（土）14:00～17:00 ※台风接近により開催中止
- ・映画「学校」「学校Ⅱ」上映 令和6年9月7日（土）10:00上映、9月8日（日）10:00上映

経 費 状 況 収入 18,451,891 円 支出 23,294,229 円 収益率 79.2%

アンケート 結 果

- ・遠方ですが、alaCollectionシリーズは絶対に来ようと早くから予定を空けて楽しみにしています。町ぐるみで丁寧に作りあげられた舞台は最高で、その熱意で心があたたかくなります。
- ・日経夕刊コラムで知り興味を持ち久しぶりに観劇に伺いました。終演後のカフェも大変分かりやすかったです。方言での感想も表情も含め素晴らしく、方言の力、言葉の力を感じました。
- ・心の中にはっこりとしたものを持ち帰ることができます。手話通訳の方が演者であったのがよかったです。全ての演劇がこうなってもいいと思う。

成 果

シリーズ初の試みで舞台手話通訳付き公演日を設けるにあたり、きこえない方きこえづらい方の鑑賞サポートとして、日本劇作家協会「戯曲デジタルアーカイブ」で初演版の戯曲が閲覧できることを案内。当日は客席内で手話で会話をしているお客様が見受けられるなど、ろう者の方々の演劇鑑賞機会に繋げることができた。稽古においては、手話通訳者から手話で演じるにあたり言葉の解釈について演出家へ確認作業が行われていたが、これは俳優にとっても台詞の真意を捉え直すきっかけともなった。

演出家からの提案により地元高校演劇部への稽古場見学の機会が設けられ、演出家への質問や俳優との交流ももたれた。「あしながおじさん」制度で観劇まで実現できたことは アーラ制作の意義を高められた。



事 業 名

ala Collection シリーズ vol.15
「いびしない愛」 東京公演

目 的 当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指すと共に、東京公演において演劇界から高い評価を得ることで、市民の演劇に対する理解を得ることを目的に発信し、シティプロモーションに貢献する。

集 客 数 877 人 席数 1,260 集客率 69.6% 会場 吉祥寺シアター

開 催 日 時 令和 6 年 10 月 25 日（金）～10 月 31 日（木）【6公演】

チ ケ ッ ト 全席指定 一般 5,000 円 25 歳以下 2,500 円

出 演 者 南沢奈央、東風万智子、佐藤祐基、内藤裕志、長江英和

市 民 参 加 -

事 業 内 容 アーラが企画制作し全国に発信する演劇プロジェクトの東京公演として、可児市で制作した「いびしない愛」を東京で公演し、首都圏に発信した。
東京公演は可児市のシティプロモーションと位置づけており、可児市および当シリーズのブランディング効果を高める効果を図った。

経 費 状 況 収入 3,578,713 円 支出 9,555,505 円 収益率 37.5%

アンケート 結 果

- ・新進作家の作品をよく表現したと思う。演出家が、作品をきちんと理解している賜物といえるだろう。限られた空間を活かした舞台も秀逸。次回作に期待。
- ・良くできた戯曲でたいへん面白かった。役者さんも丁寧に演じられていた。集中できる環境で早い段階から舞台が使えるというのは結果に現れる。
- ・最高の舞台で2回見に行きました！これこそ今、観たかった演劇だと思いました。

成 果 今回は入場者数の目標数は達成できた。その主な理由として数々の名作を生み出しているマキノノゾミの演出への演劇ファンの注目度や南沢奈央、東風万智子など比較的に名前が一般に認知されている俳優が出演していたこと、また web 媒体での情報露出が高かつたことなどが挙げられる。また作品評価として、今村修氏（演劇評論家）からは「地方語による濃密な言語空間にどっぷりハマって気持ちが潤った。」、山田勝仁氏（演劇ジャーナリスト）「無理無理感のある設定、流れだが、幡多弁という方言が舞台に生活感を与えていて、マキノノゾミの演出も相まって、密度の濃い人間喜劇となった。」と批評いただくなど、現在と地続きにある地方の閉塞感漂う中で、不器用な人々が懸命に寄り添って生きる姿が、観客の心を温かくさせつつ、笑いを生み出すことに奏功した。

事 業 名

ala Collection シリーズ vol.15
「いびしない愛」 地方公演

目 的 当財団がプロデュースする演劇作品を可児公演だけでなく東京公演および全国公演を視野に入れ、可児市から全国に発信する質の高い作品を目指す。また、全国の公共ホールと連携を組み、地域に合わせたワークショップやアウトリーチ事業を実施することで、各地域の芸術文化の活性化に寄与するものとする。各主催者からは公演費として収益を上げる。

集 客 数 845 人 席数 1690 集客率 50.0% 会場 下記参照

開 催 日 時 令和6年10月19日（土）～11月6日（水）【4公演】

チ チケット 長岡公演 3,000円、宇都宮公演 4,000円、枚方公演 4,000円、丸亀公演 5,000円

出 演 者 南沢奈央、東風万智子、佐藤祐基、内藤裕志、長江英和

市 民 参 加 -

アーラが企画制作し、全国に発信する演劇プロジェクトのツアー公演。可児市で制作した作品を全国に発信し、可児市とアーラのブランド力を高めた。

【長岡公演】 令和6年10月19日（土）14時開演 長岡リリックホール・シアター

【宇都宮公演】 令和6年11月2日（土）14時開演 栃木県総合文化センター・サブホール

事 業 内 容 ※舞台手話通訳付き

【枚方公演】 令和6年11月4日（月・振休）16時開演 枚方市総合文化芸術センター・小ホール

※舞台手話通訳付き

【丸亀公演】 令和6年11月6日（水）19時開演 丸亀市綾歌総合文化会館・大ホール

※舞台手話通訳付き

経 費 状 況 収入 21,263,990円 支出 11,917,195円 収益率 178.4%

成 果

「手話付きは初めてでしたが、手話の方も舞台と一体化されていて驚きました。演出も斬新で素晴らしいと、次第に奥深い話にひきこまれていきました。」「セットが凝っていて目を惹かれた。馴染みのない方言でも内容はスッと入っていき心地よい芝居でした。」などの声も寄せられたが、集客数は公演地によって100～300人と幅があった。長岡では定期的に演劇公演を実施しているため、固定ファンが集客を支えているが、一方で、丸亀公演では本格的な演劇公演はこれまであまり開催されていないため、固定した演劇ファンがない。また市の中心地から離れた公演会場であったこと。また平日のソワレであったことなどの要因が重なり、集客が伸びなかった。収益面においては、当初予定していたよりも旅費や宿泊費を安価に抑えることができたため、100万円程度の収益を高めることができた。

事業名

シリーズ恋文 vol.14

目的 恋人、夫、妻、母親などにむけて“普通の人々”が綴った心打つ手紙の朗読を通じて、人間同士の「絆」を多くの方に再認識して頂くことを目的とする。恋文という身近な題材を用い、また地元音楽家出演により演劇公演に馴染みのない方でも 共感しながら鑑賞できる内容とし、地域における演劇鑑賞者の基盤づくりに寄与するものとする。

集客数 341人 席数 509 集客率 67.0% 会場 小劇場

開催日時 令和6年12月14日（土）、15日（日）共に14時開演

チケット 全席指定 一般 4,000円 25歳以下 2,000円

出演者 小倉久寛、南果歩、黒木由香（ピアノ）

市民参加 フロントスタッフ

実力、知名度共に備えた俳優および演出家を招き、5日間の滞在期間に可児市で作品をつくりあげる、アーラオリジナルの朗読公演を行った。台本は秋田県二ツ井町（現：能代市）にて平成16年まで行われていた「恋文コンテスト」で全国から集められた恋文を元に構成した。音楽は地元の音楽家である黒木由香によるピアノの生演奏で実施した。
事業内容 構成・演出：横山拓也

協力：秋田県能代市（二ツ井町）

出典：「日本一心のこもった恋文」シリーズ

経費状況 収入 2,399,238円 支出 3,369,440円 収益率 71.2%

アンケート結果
・朗読劇は初めてでしたが、言葉だけの分、想像力を自由に働かせて楽しむことができました。
・心あたたまる内容で、すてきな時間を過ごすことが出来ました。お二人の声がさらに心に響き渡りました。
・毎年、見ごたえのあるお芝居、ありがとうございます。これからも続けてください。
・とってもよかったです。年長の方の思いが特に強く感じた。自分の知らない世界もあった。毎回おみやげができる。

成績 今回の出演者、小倉久寛は12年前の主劇場公演に出演しており、その際ヤイリギターの工場見学も行うなど、可児には縁があった。一方の南果歩は可児市に来たことはないが、映画撮影等で高山など周辺には何度か来訪しており、役作りのため多治見の陶芸作家と交流があるなど、遠からぬ縁はあった。公演自体の満足度は高く、令和7年度の「ala Collection シリーズ」（横山拓也氏演出、南果歩氏出演）へ向けての機運醸成には成功したように思う。

また、舞台で使用する画像の調達に、画像生成AIを初めて使用した。結果的には半分程度の採用になったが、今後の活用については大きく期待できる感触を得た。



事業名

多文化共生プロジェクト「Home」

可児市には外国にルーツがあり多様な文化的背景を持つ市民が人口の約8%在住しており、そのような外国籍の市民は言葉や文化の違いによる様々な課題を抱えて生活している。可児市の多文化共生の理念の柱の1つである、「地域社会における共生」を目的として、外国籍と日本籍の市民が文化芸術を介して交流し、同質のコミュニティの中で生活をする外国籍の人が別の居場所を見つけ、互いを尊重しあうことで、豊かな人間関係づくり、地域のコミュニティ形成につながることを目的とする。

集客数	参加者 延べ182人 観客127人	席数 -	集客率 -	会場 演劇ロフト
-----	-------------------------	------	-------	----------

【稽古】令和6年12月～7年2月 全10回
開催日時 【公演】演劇ロフト 令和7年2月16日（日）13時30分、16時開演 2回公演
すべて入場無料

出演者 日本、外国籍の市民16人

「HOME」をテーマに、市民参加者にインタビューをおこない新たに台本を作り、ダンスや身体表現を用いた舞台作品を制作した。公演後は出演者を交え、お客様とシェアできる交流会を実施した。

交流会ゲスト：鹿目由紀（演出家／多文化共生プロジェクト BORDER 作・演出）／長谷川彰（前 可児市自治連絡協議会会長）／堀江善弘／各務眞弓（NPO 法人可児市国際交流協会）／ニノキノコスター

【関連企画】

①参加者募集ワークショップ：11月10日（日）13:30／講師：堀江善弘 会場：可児市多文化共生センターフレビア

②ドキュメンタリー映画「Journey to be continued — 続きゆく旅 —」上映＆交流会：令和7年1月25日（土）14:00 会場：映像シアター

交流会のゲスト：各務眞弓（NPO 法人可児市国際交流協会 事務局長）、佐藤誠（土田自治連合会長）、西山美恵子（俳優／多文化共生プロジェクト「BORDER」参加者）※参加費、入場無料

事業内容

経費状況	収入 444,455 円	支出 948,204 円	収益率 46.9%
------	--------------	--------------	-----------

アンケート結果

- ・音楽のセレクションと振り付けはとても良かった。また、3ヶ国語でのセリフを入れ、日本語が苦手な人でも母語で参加できるのはまさに多文化共生と感じました。（ブラジル）
- ・演劇の視点から多文化共生へのアプローチは日本人市民へ我々外国人の現状を理解してもらえる、大変分かりやすい手段であると感じました。サクガワさんの言葉に涙しました。私たちの気持ちを代弁していただいた様な気がしました。感動しました。多文化共生プロジェクトに携わっている全ての皆様に、この地域で生活する一人の外国人として、心より深くお礼申し上げます。Muito Obrigado !!!（ブラジル）

成果

来場者アンケートにおいて、「多文化共生についての理解が深まりましたか？」の問いに、86%の人が理解が深まった、理解が少し深まったと回答し、出演者については100%の人が理解が深まった、理解が少し深まったと回答し、本事業が多文化共生に貢献できたことがわかった。

多文化共生をテーマにした演劇作品を創作発表することで、参加者および観客の双方に舞台芸術の魅力を伝え、将来的な観客効果の拡大を図った。



事業名

市毛良枝の音楽とかたりのひととき 「自分らしさって～登山と介護とこれから～」

目的的 俳優として長いキャリアを持つ市毛良枝が、登山や介護など様々な経験談を話しながら自分らしく生きるヒントを提示する。また、市民との交流を深める機会とする。

集客数 237人 席数 251 集客率 94.4% 会場 小劇場

開催日時 令和7年2月1日（土）13時開演

チケット 全席指定 一般 2,400円 25歳以下 1,200円

出演者 市毛良枝（朗読）、望月雄史（ギター）

市民参加 フロントスタッフ

事業内容

演奏家と共に市毛良枝の音楽、トーク、朗読を散りばめたおしゃべり朗読ライブ。平成30年「シリーズ恋文」公演でアーラでの初出演後、4回目の出演となる。アーラで継続的に公演活動をしている、その経緯を市民に知っていただき、敷居が高いと思われがちな劇場や著名な俳優との垣根を低くしていくため、市毛のひととなりが伝わるエピソードに加えて、植村直己の言葉や工藤直子、まど・みちお、岸田衿子、長田弘、柳原タケの、心に響く詩や手紙の朗読と望月雄史氏のギターの音色を散りばめていくことで、俳優としてだけでなく、ひとりの人間としての市毛良枝の魅力を伝えながら、観客の心にある温かさや明日への光を照らし出せる作品構成とした。

経費状況 収入 887,770円 支出 938,717円 収益率 94.6%

アンケート結果

- 市毛さんの言葉の美しさ、お人柄がじみ出る舞台に心が洗われました。
- アーラとのつながり、山との出会い、お母様の介護、味わい深いお話をありがとうございました。望月さんのギター感動しました。普段、私にない世界を楽しみました。

成 果

公演アンケートにおいて公演満足度の「大変良い」・「良い」の回答が84%であった。また好意的な感想が多数寄せられたことから、「俳優としてだけでなく、ひとりの人間としての市毛良枝の魅力を伝えながら、観客の心にある温かさや明日への光を照らし出す」ことができた。著名な俳優が定期的にアーラで活動することで、市民にとっては俳優をより身近に感じてもらいたいながら、劇場の敷居を低くしていきたいと考える。



事業名

渋さ知らズオーケストラ みんなの大音楽祭

目的的

普段、音楽に馴染みのない市民が舞台に挑み、文化芸術を通じた自己実現を成し自己肯定感を抱けるようになることを目指す。さらに、事業を通じて出会った人たちが新たなコミュニケーションを形成し地域に根付かせることで、文化芸術発信の豊かなまちづくりの実現も目標とする。

集客数

510人

席数 703

集客率 72.5%

会場 主劇場

開催日時

令和7年2月24日（月・振休）14時

チケット

全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円

出演者

渋さ知らズオーケストラ、公募による市民参加者

市民参加

小学1年生から78歳までの一般参加者 音楽組32人、踊り組21人、美術組13人、子供組23人、可児市宮太鼓保存会3団体20人、ごちゃまぜアートの会8人 合計117人

事業内容

100人を超える市民が、音楽組、踊り組、美術組、子ども組に分かれ、2月22日（土）～24日（月）の3日間の制作、ワークショップ、練習を経て公演を実施した。圧倒的な個性のビッグバンド「渋さ知らズオーケストラ」に市民が融合し、祝祭的な盛り上がりとなった。

音楽だけではなく、踊り組、美術組、子供組、市民サポーターの枠を設けることで、幅広い層の市民の参加を促した。さらに地域で障がい者と共に活動するアート団体と連携を組むことで、障がい者の参加も促した。また、地域の文化資源を積極的に取り入れ、可児市宮太鼓保存会が参加した。

経費状況

収入 5,034,286円

支出 9,217,155円

収益率 54.6%

【観客】

- ・圧巻のショーで老若男女楽しめてとても良いと思いました。市民を巻き込んでいるのも素敵。
- ・非常に楽しく、かつノンストップであったことに驚愕しました。市民との連携のお手本をみた思いです。

【参加者】

- ・みんなでお客さんを楽しませたい！という気持ちを持って、ひとつのステージに向かっていく、そしてそれが大成功に終わって本当に良かった。最後は感動で泣きそうでした（笑）。
- ・やってみて、音楽好きな仲間にたくさん会えたことが本当に大きな宝となりました！

成 果

「渋さ知らズオーケストラ」は音楽、踊り、美術を融合させた圧倒的なパフォーマンス力で世界を魅了する唯一無二のビッグバンドである。このあらゆるジャンルを取り入れる寛容力と表現力で子ども、大人、外国籍、障がい者など多様な市民がジャンルを問わない多彩な表現によりライブを通じて渾然一体となったことで、違いを豊かさに変換させ、共生社会を劇場空間で体現する機会となった。またアンケートによる公演満足度は「大変良い・良い」が89%であったことから、鑑賞者にとっては音楽の固定観念を覆すような刺激的なパフォーマンスで舞台芸術の魅力を伝え、新たな顧客開拓の機会となった。



事業名

歌舞伎とおしゃべりの会

目的 難解だと感じられるがちな歌舞伎や日本文化に気軽に触れてもらえる機会を提供する。またバスツアーや参加型の講座を行うことで参加者同士のコミュニケーションを図り、地域文化の活性化につなげる。

集客数 270人 席数 386 集客率 69.9% 会場 映像シアター

開催日時 令和6年7月27日(土)、11月17日(日)、12月21日(土)、令和7年3月1日(土)

チケット 講座：1,000円／回

講師 下記事業内容参照

市民参加 受付、運営補助(可児歌舞伎)

事業内容
7月27日(土) 歌舞伎と落語～素晴らしい古典芸能～ ゲスト：桂米助 講師：葛西聖司
11月17日(日) ディープに歌舞伎入門⑩～『義経千本桜』を読み込む～ 講師：木ノ下裕一
12月21日(土) ディープに歌舞伎入門⑪～歌舞伎が描くファンタジー～ 講師：木ノ下裕一
3月1日(土) 地芝居大団ぎふ応援大使ふたり、大いに語る市川笑三郎 VS 葛西聖司
ゲスト：市川笑三郎 講師：葛西聖司

経費状況 収入 564,199円 支出 698,393円 収益率 80.8%

アンケート結果
・落語は好きでよく観に行くのですが、ヨネスケ師匠を生で拝見するのは初めてでした。人脈や趣味の広さに感心するとともに、人の心を掴むような話術はさすがを感じました
・予習を様々するようになりました。難解さを覚えるばかりですが、だんだん面白くなっているということはちょっとだけ進歩しているようです。今日は不明や疑問がずいぶん解けました。ありがとうございます。
・芝居に出てくる動物の形とストーリーへの関わり方について考えたことがなかったので、新たな着目点として興味深く拝聴できました。木ノ下さんはいつも新しい気付きを教えてくださるので、何度も受講しても毎回楽しめます。

成果

木ノ下裕一の講座では歌舞伎鑑賞のための深い知識と新たな視点を得られるもの、葛西聖司の講座ではゲストの来歴と歌舞伎の関わりを紐解いていくといった、古参の歌舞伎ファンも新規層も共に親しみやすく満足度の高い内容となった。特に3月の会では岐阜県恵那市出身の市川笑三郎をゲストに迎えたことで、地元の新規観客の獲得に成功した。

6年度は国民文化祭が岐阜県で開催されたことに伴い、県内各地で歌舞伎を含む伝統芸能振興への機運も高まっており、年間を通して歌舞伎の魅力に触れられる本講座は地元の歌舞伎ファン養成に大いに役立っていると言える。

また、落語や常磐津といった他の古典芸能公演の鑑賞基礎知識を獲得する学びの場としても機能しており、他事業においても間接的に効果を發揮している。



事業名

森山威男ドラム道場

目的 日本を代表するジャズドラマー・森山威男によるドラム講座を開講することにより、初心者からプロを目指す方まで、ドラムという楽器だけでなく音楽に対する視野を広げる。地域に住むアーティストとの連携による独自の事業を展開することにより、当センターのブランディングに資する。

集客数 道場生 席数 - 集客率 - 会場 音楽練習室他
延べ177人

開催日時 ドラム道場／通年（毎週1回 計45回）

受講料 受講料 1回 3,000円／18歳以下 1,500円

講師 森山威男

事業内容 市内在住のドラマー・森山威男を講師に迎え、その高度な演奏技術を学ぶ講座をグループレッスンと個人レッスン形式で実施した。

経費状況 収入 1,202,173円 支出 1,760,000円 収益率 68.3%

【受講生アンケートより】

- アンケート結果
- 森山流ドラムを学べています。また、自分に足りない部分を明確に指摘してくださり、テクニックだけでなく、演奏するうえで大切なことを教えてもらいます。
 - 自分の個性を引き立たせる演奏技術を学びたいです。
 - 森山先生のテクニックや、音楽を身近で学べるのが嬉しいです。また、お人柄が大好きで、とても尊敬しています。よろしくお願ひいたします。
-

成 果 現在、9人の道場生が定期的に受講しており、モチベーションも高く、回を重ねるごとにレベルアップする様子がうかがえた。また、道場生の一人が音楽大学付属高校に合格するなど、目に見える成果も挙がっている。道場では受講生同士コミュニケーションを取りながら切磋琢磨する姿も見られ、単にドラムを学ぶだけに留まらない“つながり”を作る場所となっている。



事業名

おでかけ落語会

目的 プロの落語家が市内の学校に出向いて落語会を実施。落語を生徒に聞いてもらうだけでなく、扇子を使った表現などを実演しながら解説するなど、日本が誇るべき伝統話芸の魅力や表現の奥深さを伝える。

集客数 1,001人 席数 - 集客率 - 会場 市内中学校、高校

開催日時 令和6年4月22日(月)～4月26日(金)

参加料 無料

出演者 桂やまと(落語家)

落語家・桂やまとが市内の中学校に出向いて落語のワークショップをおこなった。落語を聞くだけでなく、扇子を使った表現などを実際に体験する機会を設けた。

事業内容
4月22日(月) 東可児中学校 2年生3クラス
23日(火) 蘇南中学校 2年生9クラス
24日(水) 中部中学校 2年生8クラス
25日(木) 西可児中学校 1年生3クラス / 広陵中学校 3年生3クラス
26日(金) 可児工業高等学校 1年生5クラス

【ネタ】

子ほめ

経費状況 収入 169,828円 支出 364,695円 収益率 46.6%

【先生】

- ・学年でも2名の生徒がこれまでに落語を聞いたことがあるというのが現状で、こういう機会がなかったら、もしかして一生日本の文化の一つに関わることもなかつたのでよい機会となった。
- ・相手の受け取り方を意識して物事を考える力が落語には必要ということがわかり、子ども達が集団生活をしていく上で、大切な要素だなと感じました。この機会を経て、他者の気持ちを想像できる生徒が増えるように教育していきます。

【生徒】

- ・やまとさんの最後の言葉がとても心にひびきました。落語で見つけたイメージを生活でも活かしたいです。今日は本当にありがとうございました。
- ・落語は想像を豊かにして聞くことで、より深く落語の良さやおもしろさに気づくことができることを知りました。

成 果
通算3回目の実施となる。生徒のアンケートには、落語を(面白いものとして)知ることができてよかったですという意見とともに、最後のお話に感動した・とても印象に残ったという感想が多く見受けられた。このアウトリーチ事業が、単なる文化芸術の鑑賞機会の提供以上の意味と効果を持っているといえる。



事業名

アーラ みんなのピアノ プロジェクト

目的 「ピアノを弾きたい」という夢や希望を心に抱きながら、家庭環境等の理由でそれを叶えることができない子どもたちに、その機会を提供する。付添としてピアノ講師等が入り、子どもたちを見守りながら、子どもの可能性や達成感を育む。

集客数	生徒数 延べ 351人	席数 -	集客率 -	会場 演劇練習室 他
-----	-------------------	------	-------	------------

開催日時 通年（82日・351回）

参加料 無料

市民参加 講師・受付スタッフ：有志で集まった地元ピアノ講師および音大生、本プロジェクト賛同者9名

ピアノを弾きたいという気持ちを持ちながら、それを自力では叶えることができない子どもたちにピアノと練習場所を提供する。付き添いとしてピアノ講師や音楽大学の学生が同席し、子どもたちを見守った。

対象：ピアノ教室に通っていない概ね小学1年生～中学3年生（前期・後期に分けて参加者を公募した。）

期間：令和6年5月～令和7年3月

事業内容 合計351回（1コマ30分 一人当たり月2回程度）

【ミニ発表会】

9月21日（土）会場：美術ロフト 参加料：無料 参加者：13名

【発表会】

3月9日（日）会場：美術ロフト 参加費：無料 参加者：60名 生徒や講師、家族間の交流の場として発表会と講師による演奏を行った。本プロジェクトに参加するメンバーが一堂に会することで、つながりを生み、継続していくまでの達成感やモチベーションを保つ場となった。

経費状況

収入 1,366,439円 支出 1,874,854円 収益率 72.9%

アンケート結果

- 周りの子はピアノやダンスを習っているのですが、娘の様子からお友達と同じ習い事をやれているという満足感を感じます。
- 練習すれば次に進めるという体験から、声掛けしなくとも自分から練習するようになりました。
- 次はこんな曲はどうか？など、会話の種類が増えた。

成果

大・中規模程度の事業には参加が難しい子ども、学校では「困った子」扱いをされがちな子どもなどに対しても、講師が1対1で向き合うことで、その子に応じた関わり方ができ、演奏することの楽しさ、音楽の豊かさに触れ、かつ講師や受付スタッフといった日常では触れ合うことの少ない地域の大人とコミュニケーションできる時間を通して、自己効力感や成功体験を得られる場とできた。また、保護者とも連絡を密にしたことでの家庭、学校の様子を吐露できる安心の場となっており、当該事業及び劇場への信頼感を獲得する一助となっている。



事業名

演劇ワークショップリーダー養成講座

目的 文学座より講師を招き、演劇的手法を用いたゲームなどで、想像力を刺激しながら他者を受け入れ、信頼関係を築いていく場づくりのファシリテーターを養成する。また将来的にはこの事業で養成された人材が当財団と連携をしながら、教育や福祉など様々な現場で活躍していくコミュニティ・プログラムの拡充を目指す。

参加者数 21人 席数 - 集客率 - 会場 演劇ロフト他

開催日時 令和6年5月18日（土）～8月11日（日） 計8回

参加料 受講料 3,000円

出演者 講師：植田真介（文学座所属・俳優）

【日程】

5月18日（土）14:00～17:00	講義「ワークショップリーダーの必要な要素」
5月19日（日）10:00～15:00	講義「演劇の力をどのように生かすか」
6月22日（土）14:00～17:00	実技「演劇メソッドを学ぶ①」
6月23日（日）10:00～15:00	実技「演劇メソッドを学ぶ②」
7月20日（土）14:00～17:00	実技「様々な演劇メソッドの組み立て方」
7月21日（日）10:00～15:00	実践「演劇WS実践＆振り返り」 会場：子育て健康プラザマーノ
8月10日（土）14:00～17:00	実技「様々な演劇メソッドの組み立て方」
8月11日（日）10:00～14:00	実践「演劇WS実践＆振り返り」 会場：子育て健康プラザマーノ

全講座終了後、受講者には「演劇ワークショップリーダー認定証書」を贈呈した。

経費状況 収入 445,113円 支出 941,841円 収益率 47.3%

- アンケート結果
- ・講師の植田さんの説明が非常に論理的で合点のいく内容ばかりで大変参考になりました。
 - ・ワークショップの意義や繊細なポイントを、学ぶことができた
 - ・まず連続の講座でこのようなテーマの講座を企画してくださったこと自体がとても貴重だと思います。他では受けられない内容だと思います。
 - ・ワークショップリーダー養成講座は他に企画しているところがあまりなく、とても勉強になり、参加できてよかったです。YouTubeでの映像共有など想像以上のサポートをしていただき、驚きました。月に2回というのも通いやすくよかったです。

成 果 講師の植田真介は文学座付属演劇研究所所長を務め、若手俳優の育成のほか、年間を通して様々なワークショップを外部で行っている、この道の第一人者とも言える人だが、「ワークショップリーダー（ワークショップを行う者。ファシリテーター）」を指導する講座を実施するのは今回が初めてだったため、この講座のために、これまでのワークショップ経験を初めて言語化・体系化し指導に当たった。そもそもこのような講座が意外なほど少ない上に、講師の豊富な経験、実施体験を盛り込んだ内容は、大変貴重で、想定以上に充実したものだった。参加者は、すでにそれぞれのフィールドで何らかの活動を行っている方たちばかりだったが、学びや発見が多く、今後の活動が、よりプラスアップされたものになることが大いに期待された。



事業名

みんなのディスコ 2024

目的 障がいのある方は、コロナ禍の影響から施設や自宅などに引きこもりがちな生活環境にあり、公の場所で音楽や演劇、映画、ダンスなど芸術を楽しむ機会が少ないので現状である。障がい、国籍、年齢、性別、全ての垣根を越えて、音楽で繋がる場所を提供することで、社会的な自立と生きがいを創出し、また、障がいのある方と健常者の相互理解と交流を育むことで、偏見や差別のない街づくりに寄与する。

集客数 252人 席数 - 集客率 - 会場 音楽ロフト、演劇ロフト、美術ロフト

開催日時 令和6年5月25日（土）14時開始

参加料 入場無料

出演等：DJ：みんなのディスコ DJ's / MC & LIVE : Poppins Theater (ポピinzシアター)
出演者 後藤優子★三宅恵理／WORKSHOP：堀江善弘／ACT：多治見西高等学校ダンス部、JOY
☆UP、劇団ドキドキわくわく、RYU
【協力】みんなのディスコサポーター 19名、可児地区更生保護女性の会ボランティア 5名

事業内容 テーマ「ナイト・ピクニック」
夜の森、ランタンをイメージして、市民サポーター等と協働してその世界観を演出
協力：可児地区更生保護女性の会、ごちゃまぜアートの会

【関連企画】主催：ごちゃまぜアートの会 5月19日（日） 美術ロフト 10時開始
「大～きなジブン葉っぱスタンプでたくさんペッタンコ！みんなでカラフル森を作ろう！」

経費状況 収入 212,285円 支出 463,604円 収益率 45.8%

アンケート結果 成果
アンケートからも、参加者の気づきが読み取れる記述「あまり障害がある方と触れ合うことがなかったのですが、色々話したり、一緒に踊ったりしてもっと理解したいと思いました。」や、「障がいがあり、他人とのコミュニケーションが苦手な青年が、見知らぬ参加者とハイタッチしているのを見た。」「人見知りのする障がいのある青年が、はじめはダンスの輪の外側にいたが、だんだんと内側に入っていった。」等が複数あり、質的にも満足のいくプロジェクトになった。



事業名

平田オリザの「対話を考える」モデル授業

目的 平田オリザによる演劇的な教育手法を学校という教育現場に用いることにより、子ども達のコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。

集客数 33人 席数 - 集客率 - 会場 レセプションホール

開催日時 令和6年7月26日(金)

参加料 無料

参加者 市内小中学校の3,4年目の教職員

講師 平田オリザ(劇作家・演出家)

多様な価値観が存在する現代社会において、お互いの価値観を理解するために重要な事業内容 なってくる「対話」について、劇作家・演出家で、教育・文芸・言語などあらゆる分野で活躍する平田オリザ氏を講師に迎え、市内小中学校の教員等を対象に、演劇手法に関わるワークショップを行った。

【内容】

「授業で使えるコミュニケーションワークショップ」

経費状況 収入 84,914円 支出 161,640円 収益率 52.5%

アンケート結果

- ・今の児童生徒には、主体的・対話的で共感のある学びが大切。競争に打ち勝てる子ではなく、隣の席の困っている子に教えてあげられるような共感する力が必要で、そのためには演劇は有効なものだと実感できた。
- ・本人の思うイメージと他人からのイメージにズレがあることを学んだ。指導する側がいかにイメージを共有するかが大切だと思った。子どもたちの体験やイメージが増えようにはたらきかけていきたい。
- ・他者を演じる活動では、登場人物の言動の理由を深く考えることができた。また他のグループの演技を見ることでより自分の考えが深まる体験ができた。

成 果

アンケートでクラス運営で改善したいこととして、「相手の気持ちを考えて話したり、聞いたりすること」、「自己主張、共感する力が足りない」、など意見が上げられていたが、今回の授業ではそうしたことを演劇を通じて楽しみながら学ぶことができた。同じ言葉でも自分と相手で違う意味を持っていること、お互いの意味を理解し、共有するためにコミュニケーション、想像力をはたらかせることの大切さを実感してもらった。今後、アイスブレイク、仲間集め、イメージを共有しやすいことから進めていく、興味、関心を引き立たせる授業の構成など、今日体験したことをクラス運営に役立てていきたいという声が多数あった。



事業名

ala 国際演劇サマースクール

目的的 創作ノウハウを習得させ、日本演劇界の底上げに寄与する。

集客数 7人 席数 - 集客率 - 会場 演劇ロフト

開催日時 令和6年8月21日（水）～25日（日）

参加料 3,000円

参加者 近隣中学生～大学生7人

講師 講師：エレナ・マナーズ（リーズ・プレイハウス所属）
アシスタント：鹿目由香

事業内容 リーズプレイハウス（英国）から、ユースシアター・ディレクターのエレナ・マナーズを迎えて、高校生を対象にした5日間の連続ワークショップを開催し、最終日には作品発表も行った。

経費状況 収入 357,656円 支出 1,456,419円 収益率 24.6%

アンケート結果

- 普段関わることのない年齢層や人々と関われてよかったです。
- 笑顔になれた！
- 明るく楽しくやれた！みんなと仲良く話せた！
- 遊びながら演じるという事の大切さを、思い出させてくれた
- 本番前の雰囲気、みんなでどう良くしようかと考えている感じがとてもよかったです。

企画当初の打合せにより、対象を高校生に絞って参加者を募集したが、日程が高校演劇の県大会と被ったり、私立校は既に夏休みが終わっていたりしたため、対象を中学生から大学生まで広げて声掛けを行った。結果的に、少人数ではあるが、年齢層に厚みが出たことによる好影響もあった。また、「演劇に興味はあるができる環境はない」という参加者が多く、高校演劇部が存在しない可児市内（および近隣）において、こういった企画に一定の需要があることは確認できた。少数精鋭となって一人一人へのケアが手厚くなり、参加者の満足度、成長度合いは高く、初日には探り合いの色合いが強かった一団が、最終日には作品の完成度を高めるために互いに活発に意見を交わしあえるような結束の高まりが見られた。



事 業 名

アーラ・イルミネーション

目 的 市民をはじめとするより多くの人々にアーラで集い、憩い、さらなる交流の輪を広げる機会を提供することで、アーラが可児市のランドマークとしての役割を益々高めることを目的とし、イルミネーションを設置及び、点灯式を実施する。

参 加 者 数 点灯式参加
31組 席 数 - 集 客 率 - 会 場 水と緑の広場

開 催 日 時 令和6年12月7日（土）～令和7年1月19日（日）※休館日除く

チ ケ ッ ト ワークショップ参加料：1,000円

参 加 者 点灯式に家族や友人が参加

市 民 参 加 ワークショップ補助：フロントスタッフ

可児市文化創造センター「水と緑の広場」のケヤキ、石垣及び石垣上部への、イルミネーションライトの設置。

【点灯式】

事 業 内 容 参加者がイルミネーションの点灯スイッチを押した後、イルミネーションを背景に撮影した写真でカードを作成してお渡しした。
点灯時は、職員が参加してのカウントダウン。
地域における親子の交流の場を作ることを目的に、関連企画として手作りスノードームを作るワークショップを行った。

経 費 状 況 収入 248,500円 支出 1,313,014円 収益率 18.9%

【ワークショップ参加者】

- ・すごく楽しかったです！子どもも簡単に作れてよかったです。
- ・きれいにしあげることができたし、スタッフさんたちが優しくていねいに教えてくれたのでよかったです。またやりたいです。
- ・水を入れる作業の際、作業できる人数が限られていて、待ち時間が長いのが少し残念でした。全体的には楽しくて良かったです。

点灯式の募集は短期間で定員に達し、イルミネーションを心待ちにしている市民の多さを実感した。親子で点灯式に参加する方が多く、子どもの誕生日を祝ったり、親戚で集まつたりと家族の思い出の場づくりとしての役割を果たしていた。12月はクリスマスシーズンもありイルミネーションを楽しむ観覧者が特に多く、点灯式ではその場にいる子ども達や学校帰りの中学生と一緒に掛け声を出したりと、安心して楽しめる場となっていた。

成 果 関連企画ワークショップでは劇場フロントスタッフにサポーターとして参加してもらった。アンケートでは回答者全員が「大変満足・満足」を選択し喜んでもらえるイベントとなった。

設置作業・撤去作業でもトラブルなく、点灯中の不具合も無かったため、安全面でも問題なく実施できた。



事業名 **ココロとカラダワークショップ
(親子 de 仲間づくりワークショップ・ココロとカラダの健康ひろば)**

目的的 乳幼児とその親、高齢者が孤立してしまうことを防ぐために、それぞれの仲間の輪を広げることを目的にコミュニケーションワークショップを継続的に実施する。

集客数 ①親子 de 仲間づくりワークショップ 延べ370人 会場 レセプション
②健康ひろば 延べ423人 ホール

令和6年5月8日(水)～12月11日(水)の指定水曜日
開催日 親子 de 仲間づくり 前期5回、後期5回各2チーム、ココロとカラダの健康ひろば 前期10回、後期10回

参加料 参加料 1回300円

講師 Ten seeds(劇・あそび・表現活動)、あおみどり(歌・音楽・表現活動)、康本雅子チーム(ダンス)、堀江善弘チーム(ダンス)

コミュニケーションゲームやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、参加者同士の交流を深め、健康づくりそして仲間づくりを促進する空間づくりをした。

【親子 de 仲間づくりワークショップ】市内在住の0～3才児とその保護者対象ワークショップ
(前期) 5月～7月の水曜日 10:45～11:45 全5回×2チーム
(後期) 10月～12月の水曜日 10:45～11:45 全5回×2チーム

[定員] 各チーム15組 [参加人数] 延べ370人

事業内容 【ココロとカラダの健康ひろば】60代以上対象ワークショップ
(前期) 5月～7月の水曜日 14:00～15:15 全10回
(後期) 10月～12月の水曜日 14:00～15:15 全10回
[定員] 20人 [参加人数] 延べ423人

【高齢者サロン・リーダー研修会】

5月9日(木) 10:00～12:00 [主催:可児市社会福祉協議会]

[会場] 福祉センター・大ホール [参加人数] 27人

経費状況 収入 1,495,867円 支出 2,533,777円 収益率 59.0%

アンケート結果

【親子de仲間づくりワークショップ】

- とても刺激があるようで、すぐに帰ってから3時間も寝ていました。大満足です。
- 泣いていても笑っていても受け入れてもらえて、私もリラックスして楽しめました。
- 育児の悩みを聞いてくれまた機会があれば参加したいし、友達にお勧めしたいです!

【ココロとカラダの健康ひろば】

- こんな素晴らしい企画がある事知りませんでした。心と体を開放して頂きました。
- 新しい仲間と元気と笑顔がどんどん増えていくのが自身にとっても励みになり感謝。

成 果 新規講師として、新井チームでアシスタントを務めていた橋向氏をリーダーとした新グループ「あおみどり」、昨年度の市民参加事業「オーケストラで踊ろう!」振付の康本さんチーム、そして多文化共生プロジェクトに関わっているダンサーの堀江さんチームを迎えて開催した。高齢者ワークショップでは、新規講師とすでに顔見知りの参加者もあり、初回からリラックスした雰囲気で実施できた。



事 業 名**児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ
スマイリングワークショップ**

目 的 不登校児童・生徒が自己肯定感を育めるように、また市内小学校へ通う子どもたちが、相手に自分の思いや考えを表現し、そして相手を受け入れることができるコミュニケーション能力を育むため、継続的に実施する。また夏休みに教職員対象ワークショップを行うことで教職員が現場で活用できる活動事例を伝える。

集 客 数	児童生徒 1,331 人 スマイリング 107 人	席数 -	集客率 -	会場 市内小学校、 教育研究所
--------------	------------------------------------	-------------	--------------	---------------------------

開 催 日	令和 6 年 4 月 17 日（水）～12 月 12 日（木）	児童生徒 スマイリング 教職員対象	全 47 回 全 7 回 1 回
--------------	---------------------------------	-------------------------	------------------------

講 師	劇・あそび・表現活動 Ten seeds、アフタフ・バーバン、あおみどり、康本雅子チーム、堀江善弘チーム
------------	--

コミュニケーションやダンス、演劇表現の要素を取り入れながら、子どもたちのコミュニケーション能力を伸ばし、自分を表現する、相手を受け入れることのできる心身づくりをする。

事 業 内 容	【児童のためのココロとカラダワークショップ】市内小学校 児童対象 クラス単位の90分間のワークショップ (前期)4月～7月(後期)10月～12月 ※各校相談により時間設定 全47回実施 【スマイリングワークショップ】市内不登校児童・生徒が通うスマイルinguルームでのワークショップ (前期)5月～7月の木曜日10:30～11:45 (後期)10月～12月の木曜日10:30～11:45 全7回実施 【教職員対象ワークショップ】(教員2年目悉皆) [7月31日(水) 10:00～16:00 [会場] レセプションホール 1回実施
----------------	--

経 費 状 況	収入 3,453,022 円	支出 3,572,300 円	収益率 96.7%
----------------	----------------	----------------	-----------

アンケート 結 果	【先生】 ・普段なかなか笑わない子が笑顔で参加していたり表情や身体全体を使って表現をしたりする姿がとても印象的でした。子ども達の考えを受け入れ認めてくださる姿が素敵でした。 【児童】 ・私が皆の表現を見て違うことを言ってしまったときに、皆が優しく「大丈夫だよ」と言ってくれてテンシーズさんも励ましてくれてワークショップは沢山の優しい人に恵まれているなど感じた。 ・チームと協力してあまり話したことのない子とも仲が深まった。明るくて心がはずむ場所でした。
------------------	--

成 果	昨年度から開始した低学年対象ワークショップは、3校17回から今年度は5校20回と回数が増え、いずれの学校も年2回の実施、そして終了後には担任を含めた振り返りの時間を設けることができた。中高学年対象ワークショップは、昨年度に引き続き市内公立の全11校を回ことができ、講師が夏休みの教職員対象ワークショップも担当していることから活動を理解したうえで講師陣を迎えてくれる担任が増えた。マスク着用の割合も減り、子ども達の表情がより窺えるようになったため活動中に気になる児童に注意を払いやすくなった。
------------	---



事業名

紙芝居一座支援

目的的 平成27年度に文学座朗読ワークショップに参加した市民で構成するアーラ紙芝居一座を支援し、市民の文化芸術活動の促進を図る。子どもを主な対象とした紙芝居公演を実施し、将来の鑑賞者育成を図る。

集客数 参加者 12人 席数 - 集客率 - 会場 下記参照

開催日時 【稽古】令和6年4月～令和7年3月 14回
【公演】令和6年12月7日（土）、令和7年3月8日（土）

出演者 アーラ紙芝居一座 12人

市民参加 アーラ紙芝居一座 12人

文学座の演出家を招いたワークショップにより結成された市民で構成する紙芝居一座の活動を支援し、子どもを対象にした紙芝居作品の制作、公演を支援した。

【稽古】

4/27（土）、6/8（土）、9/7（土）、9/14（土）、9/28（土）、10/5（土）、10/27（日）、11/10（日）、
11/17（土・祝）、11/23（土）、11/30（土）、12/6（金）、3/1（土）、3/7（金）

事業内容 【本番】

①令和6年12月7日（土） 10時30分開演

会場：兼山地区センター兼山児童館、民生児童委員主催

演目：出てこいこい、あめ、ももたろう

②令和7年3月8日（土） 11時30分開演

会場：カニミライブ図書館

演目：おおきなかぶ、ももたろう

経費状況 収入 5,000円 支出 21,872円 収益率 22.9%

【参加者メンバーの感想】

- アンケート結果
- ・紙芝居の活動にやりがいを感じている
 - ・みんなでアイディアを出し合って新しい作品を作っていくことの楽しさがあった。
 - ・実際に本番を迎えて子どもたちがとても集中しながら観ている姿を見て、演じている私たちもとても刺激になった。

成果

観客参加型として創作した「出てこいこい」という作品では、子どもたちが物語の登場人物と一緒に掛け声をかけながら展開する物語。「あめ」という作品は、子どもたちの声がアンサンブルとして重層的に加わることで、まるで音の＜雨＞のように作品世界を彩る不思議な作品。どちらも無理なく子どもたちの参加を促していくことで、子どもたちが作品の一部となる貴重な鑑賞体験を提供することができた。また、新規メンバーとして2名が加わり、新演目を新旧のメンバーと一緒に創作していくことで、メンバー間の交流とつながりを活性化させた。昨年出来たばかりの無印良品と公共図書館が一体となった世界初の施設カニミライブ図書館においてアーラ紙芝居一座での公演を実現させたことで、地域での認知度を高めた。



事 業 名**劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ
「あーとま塾2024」**

目 的 アーラの鑑賞者開発の取組みや、地域貢献及び社会的包摂に関する考え方と具体例を題材に劇場関係者と意見交換し、社会機関としての劇場運営とアーツマーケティングについて学び合うことを目的とする。

参 加 者 数	参加者 延べ55人	席 数 -	集 客 率 -	会 場 美術ロフト
----------------	--------------	-------	---------	-----------

開 催 日 時	令和6年9月4日（水）、5日（木） 令和7年2月5日（水）、6日（木）
----------------	--

講師：大木義徳（株式会社三井物産戦略研究所）
若林朋子（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授）
ゲスト
岡田正大（慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授）
衛紀生
ファシリテーター：落合千華（一般社団法人CoAr代表理事）

企業の社会貢献部門や、大学の芸術支援やCSVの研究者によるレクチャーをふまえ、グループワークでは以下のグループ分けを行い、alaとのきしたのステークホルダー分析等を行い、「創客」の取り組みの事例を参考に、他組織において再現可能な点を分析し、顧客との関係づくり戦略の可視化に取り組んだ。

1. グループ「可児」可児市文化創造センター：【支持者開発】社会包摂型劇場経営の次のステージ社会的処方による共感による地域ネットワークづくりと、CSVの手法をふまえた地域公共劇場の新たな支持者開発
 2. グループ「上田」のきした：【資金調達】上田の民間NPOの地域ネットワークづくりの持続可能な体制づくり、行政支援や企業協賛などCSVの手法をふまえた資金調達の可能性
- 来年度以降には、あーとま塾関係者で、ゼミで得た知見や成果等を文化芸術関係の学会で発表する。

事 業 内 容

経 費 状 況	収入 772,226円	支 出 1,896,924円	収益率 40.7%
----------------	-------------	----------------	-----------

アンケート結果

- ・今回初めての参加となりましたが、岡田先生の講義内容にある「共有価値の概念（経済性と社会性）」や、特にヤマハ発動機の事例など、また衛さんの言葉にある「愛好者」ではなく「支持者」を集めるための共有価値の最大化を深く考えることができました。
- ・劇場職員や自治体文化課など様々な背景を持つ参加者とワークをすることで、自分とは異なる視点での発言に気付きを得ました。抽象的なビジョンを具体化することもできました。

成 果

アンケートにおいて、「創客やCSVについて理解することができましたか？」の問い合わせに85%の参加者がとてもそう思う、そう思うと回答した。「主にグループワークにおいて、価値を共創することについて理解が深まりましたか？」の問い合わせに、85%の参加者がとてもそう思う、そう思うと回答した。「今回のゼミに参加して得た知見を、所属する職場や活動する現場などに還元できそうですか？」の問い合わせに、92%の参加者がとてもそう思う、そう思うと回答した。

近隣の劇場関係者に声をかけ、グループワークにおいてコミュニケーションを取り、主に東海地区的劇場関係者のネットワーク形成ができた。



事業名

アーラまち元気部

目的的 近年の教育現場は、学校の働き方改革を推進する目的で、学校部活動の外部化を推進しており、地域の中で持続的な文化芸術活動が子どもたちに行われることが求められている。この流れを受けて、これまでのアーラまち元気プロジェクトのプログラムを活かして子どもたち、そして地域の繋がり回復を軸とした多世代交流の取り組みとして様々な場づくりを本事業で起こしていくことを目的とする。

集客数	参加者 延べ119人	席数 -	集客率 -	会場 ala 館内 他
開催日時	令和6年5月18日（土）～令和7年3月20日（木・祝）			
参加料	無料			
市民参加	市内在住または在学の中学生・高校生 24人、まち元気リンクワーカーメンバー			

学校の枠をこえてアーラに集まった中高生たちに、地域の様々な人たちと交流しながら、アーラが主催する文化芸術プログラムや地域の活動を通した社会活動の場を提供した。

【活動（35回）】

「清流の国ぎふ」文化祭 2024での「ちーおシスタチュー製作」、地域の子ども食堂でのボランティア及びアートワークショップの実施サポート、岐阜県PTAフォーラム 可茂地区大会内の企画運営、児童館での夏祭りボランティア、可児市内の図書館1周年記念イベントのボランティア、劇場公演時のフロント業務、FMラジオでの番組製作、活動PRのための展示、コンサートにおける会場装飾など。

事業内容

【講師】

「清流の国ぎふ」文化祭実行委員会メンバー、ごちゃまぜアートの会 大野弦・坂崎紗希・斧内弥生、FMららパーソナリティ野田光代・田代宏樹、キットパスインストラクター瀬口ゆかり

サポートー：まち元気リンクワーカーメンバー

【協力】可児市、可児市教育委員会、可児市教育研究所、（福）可児市社会福祉協議会、（特非）可児市国際交流協会、（特非）可児市NPO協会、FMらら、無印良品 カニミライブ図書館、中央児童センター「にこっと」

経費状況	収入 190,000円	支出 383,090円	収益率 49.6%
------	-------------	-------------	-----------

【元気部メンバー】

アンケート結果

- 多くの人と関わるために自分から話しかける必要があり、様々な活動で色々な方が参加されるので、多種多様な人がいると実感できた。
- 昔はとても人見知りで知らない人を避けっていましたが、元気部に関わってみて人と関わることがすごく楽しいと感じれるようになった。

成 果

アンケートによると「まち元気部に参加してよかったです」といった回答が多く、次年度も参加意欲をみせている。自分たちの居場所としてとらえており、また地域の大人たちや、自分たちよりも小さな小学生等と接する機会を有意義に感じている。自身の内面の成長を実感していると同時に、自己表現の能力も高まっている。不登校ぎみの子や学校に居場所を感じていない子もいるようだが、次年度に向けての高いモチベーションもあり、将来を前向きに捉えられるように変化している。メンバーには自身で学生団体を立ち上げる子や、可児市PTAフォーラムで中高生を代表して登壇する子、清流の国ぎふ総文で代表を務めた子もあり、部員同士で刺激を受けていた。



事業名

まち元気リンクワーカー養成講座

目的
アーラが、これまで培ったさまざまな文化芸術プログラムと地域内的人的リソースを最大限に活かして行う「文化芸術版社会的処方箋活動～『まち元気プラットフォーム（持続可能な地域の支え合いのネットワーク）』」の本格的な構築を支える、“市民リンクワーカーの育成”を目的とする。

集客数 参加者 席数 - 集客率 - 会場 創造スタッフ室
延べ145人

開催日時 通年（14回）

参加料 無料

講師 鳥羽都子（岐阜県美術館 学芸員）、西智弘（川崎市立井田病院 腫瘍内科／一社プラスケア代表理事）、森合音（四国こどもとおとなの医療センター ホスピタルアートディレクター）

アーラ版市民リンクワーカーを育成し、誰もが気軽にアクセスできるよう交流プログラムなどを企画できる人材を育む講座を開催した。
事業内容 7月10日（水）、15日（月）、18日（木）オンラインレクチャー
7月27日（土）、8月4日（日）、11日（日）、31日（土）対面グループワーク
10月19日（土）、11月23日（土・祝）、12月21日（土）、1月25日（土）、2月8日（土）企画ミーティングを実施した。
3月22日（土）修了式を行った。

経費状況 収入 297,199円 支出 340,323円 収益率 87.3%

アンケート結果
・参加する前は「処方」と聞くとお医者さんのように治したり与えたりするイメージが強かった。この講座に参加して、文化芸術を通して人と人・人と場所を繋ぐということがその人にとっての居場所を作ることに繋がり、結果的に孤独孤立を減らすことに繋がる可能性があるということを学び、そこに希望を感じた。
・アーラがまちにあるからこそ、文化芸術に触れることが自然になるといいですね。開かれた劇場であり続けて下さい。そして、さらに社会的処方が発展するまちになるには、リンクワーカーの存在は必須だと思います。活躍できる人材発掘、育成、そして、実践をこらからも継続して欲しいです。

令和5年度から始まった事業で、今年度で2年目となるが、昨年度の1期生と今年度の2期生を軸にそれぞれ横のつながりが生まれており、確実に地域のネットワーク形成が進んでいる。この延長線上に、社会的孤立を予防・緩和できる、地域の緩やかなネットワークがある。

成 果 国民文化祭で日比野克彦氏が取り組んでいた、文化リンクワーカーとの交流会も実施でき、可児市外の団体とのネットワーク形成もできた。

2期生の最後の成果発表では、それぞれ活動するフィールドは異なるが、共有する芸術による社会的処方の概念をベースに、地域の活動に活かしていくという意見が多かった。



事 業 名

可児常磐津教室支援 巴瑠の会 おさらい会

目 的 市民に敷居が高く感じられがちな常磐津（歌舞伎と共に発展してきた「淨瑠璃」の流れをくむ「語り物」）を気軽に学ぶことで邦楽の魅力を伝え、伝統音楽を後世に引き継いでいく。また、成果発表の場であるおさらい会を開き、市内では聴く機会の少ない本格的な生演奏を市民に楽しんでいただく。

集 客 数 100 人 席数 311 集客率 32.2% 会場 小劇場

開 催 日 令和 7 年 2 月 11 日（火・祝） 13 時開演

参 加 料 全席自由 入場無料

市 民 参 加 フロントスタッフ

【常磐津教室】

おさらい会に向け講師を招き、月 1 回程度の稽古を行う。

講師：常磐津巴瑠幸太夫、参加者：11人

【おさらい会】

事 業 内 容 教室参加者だけでなく、地域の方にも気軽に常磐津を楽しんでいただけるよう公演形式で成果発表した。入口にて来場者に演奏曲目を全曲収めた詞章（歌詞）を配布した。
出演常磐津教室参加者11人、常磐津巴瑠幸太夫（講師） 賛助出演：岸澤式松、常磐津三都貴

経 費 状 況 収入 - 支出 - 収益率 -

アンケート
結 果

【参加者】

この規模でおさらい会を続けられることで、常磐津という伝統文化を未来へ繋いでいくことの助けることができる。継続できて、本当に感謝している。

成 果

継続して 10 年目のおさらい会となった。

参加者は昨年から引き続き 11 名の生徒と、常磐津節三味線方には常磐津三都貴、今年は岸澤式松氏も招聘するなどおさらい会としては贅沢な顔ぶれで、巴瑠の会主催となってから 8 年目となったが、生徒たちのモチベーションも高く前向きに運営を継続できていることは、全国的にも伝統芸能教室の在り方として非常に価値の高いものと考えられる。

近隣の小学生が生徒の一員ということもあり、家族をはじめとする市民が気軽に素淨瑠璃を楽しめる会としても貴重で、地域の伝統文化に触れられる貴重な機会として、会館側のサポートが不可欠といえる。

事業名

可児市ジュニア音楽祭 2024

目的 市内で音楽活動をしている子ども達が一同に発表する機会を設けることにより、音楽への関心をさらに高めるとともに、文化創造センターへの愛着を持ってもらい、音楽あふれるまちづくりに寄与する企画を開催する。

集客数 871人 席数 1,019 集客率 85.5% 会場 主劇場

開催日時 令和6年7月7日（日） 13時開演

参加料 入場無料

出演者 18歳以下の子どもが主体で、市内を主な拠点として活動している団体。

市民参加 フロントスタッフ

【出演団体】

事業内容 東可児中学校吹奏楽部、広陵中学校吹奏楽部、西可児中学校吹奏楽部、中部中学校吹奏楽部、蘇南中学校吹奏楽部、帝京大学可児高等学校中学校吹奏楽部、可茂ジュニアウインドオーケストラ～Resonair～

経費状況 収入 1,141,000円 支出 694,765円 収益率 164.2%

アンケート結果
・子どもたちの真剣さや緊張が伝わってきて、よい演奏でした。
・子どもたちがホールで演奏する機会を作っていただきありがとうございます。

成 果

参加団体が前年度から1団体減ったこと
もあってか、来場者数は落ちたものの満足度は概ね維持できた。団体自身による演奏前の団体紹介の時間を設けたことで、普段の活動の様子や聞きどころなど団体の特色が子どもたちの言葉で伝えられ、演奏による活気づくりに花を添えていた。

また、岐阜県内で行われた全国高等学校総合文化祭（清流の国ぎふ総文2024）、国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭（「清流の国ぎふ」文化祭2024）のPRのため、清流の国ぎふマスコットキャラクター「ミナモ」をはじめとしたPRキャラバン隊による紹介の時間もあり、来場者を喜ばせた。



事業名

第43回可児市美術展

目的 豊かな人間性を育て、芸術・文化のかおり高いまちづくりを進めることを目的とする。

集客数	出展数 246点 集客数 1,216人	席数 -	集客率 -	会場 ロフト、 ギャラリー他
-----	------------------------------	------	-------	----------------------

開催日時 令和6年11月20日(水)～11月24日(日) 9時30分～18時(24日は15時45分まで)

市民参加 企画、方針の決定(市民運営委員)

- 事業内容
- ・洋画、日本画、書道、彫塑工芸・デザイン、写真の5部門を募集した。
 - ・各部門の作品を専門の審査員により審査し、賞を決めた。
 - ・入選以上の作品を展示し、一般公開した。
 - ・各部門上位6賞(市美術展賞、市長賞、議長賞、教育長賞、「清流の国ぎふ」文化祭2024特別賞、光秀賞)と、高校生対象の薔薇賞を受賞した者に対し表彰式を行った。

経費状況 収入 3,077,000円 支出 2,508,853円 収益率 122.6%

- アンケート結果
- ・とても素晴らしい作品ばかりで、高校生の方も頑張って作品を出品していると思うと、私も頑張らなくちゃと思い元気をもらいました。
 - ・名古屋市、春日井、多治見、小牧など色々な美術展拝見させていただいてますが、可児市美術展は若い方も多数出品されて一番未来のある美術展と思っております。関係者の方の努力素晴らしいです。

成 果

来場者と出品者共に昨年よりも減少したが、書と彫塑工芸については近隣の高校生の出品が増えており、特に彫塑工芸では高校生が市美術展賞を受賞するなど若年層の作品が目立った。アンケートでも高校生の出品を喜ぶ声が多くあり、美術展としても活気づいたものとなった。

国民文化祭の関係で表彰式を小劇場で行い、例年よりも華やかで印象に残るものとなった。



事業名

第32回可児市文芸祭

目的 可児市における文芸への創作意欲を高め、文芸活動の振興を図るとともに芸術のかおり高いまちづくりを進めるもの。また、朗読会を実施することを通じて、文芸作品を作るだけでなく、耳からも楽しむ機会を提供する。

集客数	応募人数 3,942人	席数 -	集客率 -	会場 ギャラリー、 演劇ロフト
	応募点数 5,156点			

開催日時 【展示】令和6年11月24日（日）～12月1日（日）
【朗読会】令和6年12月1日（日） 14時開演

市民参加 市民運営委員（企画、方針の決定）

○一般の部

短編小説、隨筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡の8部門を一般より募集して審査。優秀賞以上の作品を会期中、ギャラリーに展示。最終日に表彰式と文芸祭賞受賞作品の朗読会を開催した。

○小・中学生の部

詩・作文、短歌、俳句の3部門を市内の小・中学生より募集して審査。特選以上の作品を展示了。

一般の部応募状況：1,356人 2,570点

小・中の部応募状況：2,586人 2,586点

優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と、受賞作品の朗読会を開催した。

朗読：日景温子（文学座）

経費状況 収入 2,371,000円 支出 1,809,863円 収益率 131.0%

アンケート【朗読会】

結果 ・ありがとうございました。ひきこまれました。

成 果 募集から表彰式まで滞りなく行うことができた。審査は昨年同様スムーズに終了した。一般的な部は昨年度と比較して隨筆・俚謡部門では減少したが、それ以外の6部門で増加し、可児市内、岐阜県内からの応募は昨年度から減少した反面、過去最多の応募点数となった。

小中学生の部については昨年度より322名応募者が増加した。

また、朗読会も滞りなく開催され、来場者が昨年よりも約10名増加した。



4 共催事業 事業報告

事業名 ウィーンV. ルジェリウスピアノ三重奏団

目的 敷居が高いと捉えられがちなクラシックコンサートを気軽に親しんで頂く機会として実施する。令和6年度で、アーラで18回目となる恒例のコンサートであり、ウィーン仕込みの演奏と、曲の背景やウィーンの文化に関するトークで、一定のリピーターとなる観客だけでなく、初めてのクラシックコンサート体験としても満足感が得られるものとする。

集客数 243人 席数 311 集客率 78.1% 会場 小劇場

開催日時 令和6年7月21日（日） 14時開演

チケット 全席指定 一般 2,000円 25歳以下 1,000円

出演者 ウィーン V. ルジェリウスピアノ三重奏団

市民参加 フロントスタッフ

息のあった演奏と、演奏曲やウィーンの文化などについての楽しいトークで、クラシック音楽を身近に感じることができるコンサートを開催した。

事業内容 【プログラム】エルガー：愛のあいさつ／J.ブラームス：ハンガリー舞曲第6番／マスネ：タイスの瞑想曲／ヨハン・シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「憂いもなく」／ヨハン・シュトラウスⅡ：ワルツ「南国のバラ」／シューマン＝リスト：献呈／アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌／クライスラー：愛の喜び／ドヴォルジャーク：スラヴ舞曲 作品72 第2番／ヨハン・シュトラウスⅡ：ポルカ・シュネル「トリッチ・トラッチ」／ヨーゼフ・シュトラウス：ワルツ「天体の音楽」

経費状況 収入 52,710円 支出 64,563円 収益率 81.6%

アンケート結果
・このコンサートの頃になると「真夏だなあ」と感じます。森川さんのプラム色のシャツと洒脱なMCが楽しいです。森川夫妻は憧れます。前半は「テープは切られた」等、仕掛けの楽しい曲で毎年プログラムを工夫して下さってうれしいです。今年は選曲がとてもよかったです。また来年も聴きに来たーい♪期待しています。
・お値段以上、大変楽しい公演でした。初参加でしたがあっという間に楽しい時間は終わってしまいました。森川さんのトークもおもしろいし、3人の雰囲気も穏やかで心地良かったです。演奏を聴いて、とても優しい気持ちになりました。毎年あるとのこと、来年も行きたいです。

成 果 入場者数が243人と目標の数値を達成することができた。「ウィーンV. ルジェリウスピアノ三重奏団」は今年で結成25周年で、継続してコンサートを行ってきたことで着実にファンが定着しているのが伺われた。本場ウィーンの演奏と出演者の洒脱なトークが好評で、アンケート結果でも公演の満足度が88%と高い結果となった。毎年趣向を凝らしたプログラムで、今年は森川氏の合図で来場者が曲に合わせて「チクタク・チクタク」と声を入れたり、手拍子を入れたりと一緒に楽しんでもらえる曲もあった。本公演は聴き馴染みの曲も多く、クラシックの入門編としても最適なため、今後も継続して実施ていきたい。



事業名

新日本フィルメンバーと仲間たち

目的 地域拠点契約を結ぶ新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーらが弦楽四重奏を結成し、クラシック音楽を小劇場の空間で気軽に親しんで頂く機会とする。

参加者数 278人 席数 311 集客率 89.4% 会場 小劇場

開催日時 令和6年8月24日（土）14時開演

チケット 全席指定 一般 3,000円 25歳以下 1,500円

出演者 山本美樹子（ヴァイオリン）、三雲はるな（ヴァイオリン）、脇屋冴子（ヴィオラ）、長谷川彰子（チェロ）

市民参加 フロントスタッフ

新日本フィルハーモニー交響楽団のチェロ首席奏者である長谷川彰子（多治見市出身）が中心となり、選りすぐりのメンバーで弦楽四重奏を結成し、コンサートを実施した。

【プログラム】

W. A. モーツアルト／アイネクライネナハトムジーク ト長調 K525より1楽章

事業内容 F. J. ハイドン／弦楽四重奏曲第77番 ハ長調 作品76-3「皇帝」より第2楽章

L. ベートーヴェン／弦楽三重奏曲第3番 作品9-1より第1楽章

L. ベートーヴェン／弦楽四重奏曲変ロ長調 作品130、作品133「大フーガ」

【アンコール】

L. ベートーヴェン／弦楽三重奏曲第四番ハ短調 作品9-1より 第4楽章

経費状況 収入 517,680円 支出 7,898円 収益率 6554.6%

アンケート結果

- ・チェロの長谷川さんの出身地が多治見ということで、初めてのコンサート。私たちが聞いていても、理解できるよう説明があり、大変参考になりました。カルテットの特別なメロディーやリズムに感激いたしました。ありがとうございました。
- ・土曜日の14時という昼夜の食事から離れた参加しやすい時間で、手頃な代価で、生の演芸（今回はクラシック音楽）を、市内（アーラ）で、鑑賞できるチャンスと思って参加しました。今後も参加しやすい企画をしていただければ、参加する機会もあると思います。

成 果

集客について、広報誌の巻頭インタビューや、中日新聞の記事掲載等の広報で、目標以上の集客ができた。

内容については多くのお客様に親しみを感じられるコンサートで満足いただけた。親しみやすさを売りにしたトークであった反面、人によつては「くだけすぎ」という印象を受け取る人もいた。次回、実施する際はトーク進行に工夫が必要である。



事 業 名

音楽家の集い Vol.81 ~ 83
みんなでうたう！オーケストラコンサート
おやこでうたうコンサート

目 的 難解で高価であるというイメージを持ちクラシック音楽から足を遠ざけている市民を、奏者と観客が近い空間を作ることで、一体感を感じていただき、また手頃な値段をきっかけに気軽に鑑賞できる機会を提供する。

集 客 数 655 人 席数 1,229 集客率 53.3% 会場 音楽ロフト、主劇場

開 催 日 時 下記参照

チケット

【音楽家の集い】 全席自由 800円
【みんなでうたう！オーケストラコンサート】
全席自由 一般 800円 中学生以下 500円
【おやこでうたうコンサート】 全席自由 一般 800円 中学生以下 500円

出 演 者 下記参照

事業内容

【音楽家の集い】
9/29 (日) vol.81 工藤雄司、首藤友里 クラリネットとピアノで奏でる美しい名旋律の響き
12/22 (日) vol.82 古井麻美子、松下寛子 クリスマスコンサート
3/ 1 (土) vol.83 趙知奈、福田紗永、野口夏菜 あなたに贈る愛の歌
【みんなでうたう！オーケストラコンサート】
9/18 (日) 11時開演 指揮：濱津清仁 うた・司会：鷺見真純
管弦楽：音楽家の集いスペシャルオーケストラ
(コンサートマスター：古井麻美子)
【おやこでうたうコンサート】 9/29 (日) 工藤雄司、首藤友里、鷺見真純
12/22 (日) 工藤雄司、首藤友里、鷺見真純
3/ 1 (土) 趙知奈、福田紗永、野口夏菜

経 費 状 況 収入 72,150 円 支出 107,937 円 収益率 66.8%

アンケート
結 果

【音楽家の集い】
・「音楽家の集い」を聴くのは3回目ですが、オーケストラなどとは違って親しみのある音楽を気楽に楽しめるので気に入っています。演奏者のトークも個性を感じられて楽しい。
【みんなでうたう！オーケストラコンサート】
・子どもと一緒にオーケストラを聞くことがなかなかできないので、こういう機会はとてもうれしいです。オペラ歌手の方の歌もきけ、子どものうたえる歌もあり、とてもよかったです。またぜひ聞いてほしです。
【おやこでうたうコンサート】
・子どもと楽しめる企画をありがとうございました。本物とふれあえて親としても満足です。またこの様な企画をよろしくお願ひします！

成 果

これまでロフトで80回近く「音楽家の集い」と「おやこでうたうコンサート」を開催してきたが、今年度初めて主劇場で「みんなでうたうオーケストラコンサート」を開催した。「音楽家の集い」と「おやこでうたうコンサート」の出演者が中心となって結成されたオーケストラが出演し、クラシックの名曲などを演奏。300名以上の親子連れが来場した。また、「おやこでうたうコンサート」「音楽家の集い」も好評で、9・12月の「おやこでうたうコンサート」は2回とも完売し、アンケートでもほぼ全員が「大変良い・良い」と回答するなどいずれも満足度の高い公演となった。

alaでは主催事業でも0歳から参加できるコンサートや安価で楽しめるコンサートを行っているが数が限られるため、主催事業を補完する意味でもこの事業は重要であると思われた。

事業名

森山良子コンサートツアー ～My Story～2024

目的 可児市民が求めるミュージシャンを招き、コンサートを楽しむ機会を提供する。

参加者数 862人 席数 910 集客率 94.7% 会場 主劇場

開催日時 令和6年10月17日（木）16時開演

チケット 全席指定 7,000円

出演者 森山良子

市民参加 フロントスタッフ

デビュー55周年を迎えた森山良子の、今なお変わらない透明感のある歌声と歌唱力で数々のヒット曲を楽しむコンサートを開催した。

【プログラム】

第1部

エターナリー／メドレー（思い出のグリーングラス、恋はみずいろ、禁じられた恋）／この広い野原いっぱい／Ale Ale Ale／さよならの夏／あなたが好きで／さとうきび畑

第2部

ゴロワーズを吸ったことがあるかい／On The Sunny Side of The Street／My Blue Heaven／Life is Beautiful／涙そうそう／家族写真／You Raise Me Up／今

【アンコール】

聖者の行進

経費状況 収入 428,400円 支出 47,300円 収益率 905.7%

アンケート
結果

- ・今回とても楽しい公演でした。良子さんのやわらかい雰囲気と歌声、おもしろいお話をひきこまれました。とてもパワフルな公演をありがとうございました。これからも元気で活躍して下さることを楽しみにしています。また公演にうかがいます！！ファンになりました～。
- ・森山さんのお話しさは楽しかったです。パワフルな方で元気を頂きました。こんな歳のとり方をしたいと思いました。ありがとうございました。

成 果

出演者のネームバリューも手伝って、前売りの早い段階で80%を超えることができた。

可児でのツアーパフォーマンスは2017年以来と久しぶりのものだったこと、誰もが知る名曲が披露されたことに来場者のほとんどは公演に満足の様子で、アンケートへの意見も好評なものが多く、目的は達成されたといえる。



事業名

オペラハイライト「カルメン」

目的的 オペラを、ナレーション付き演奏会形式のハイライト公演として行うことで、市民からの高い鑑賞ニーズに応える。

集客数 617人 席数 959 集客率 64.3% 会場 主劇場

開催日時 令和6年11月16日（土）14時30分開演

チケット 全席指定 一般 6,000円 25歳以下 3,000円

出演者 角田鋼亮（指揮）、セントラル愛知交響楽団（管弦楽）、林美智子（メゾソプラノ）、中井亮一（テノール）、近野賢一（バリトン）

市民参加 フロントスタッフ

東海地方のプロオーケストラである「セントラル愛知交響楽団」によるオペラハイライト公演。アーラでは、舞台の構造上グランドオペラの実施が難しいが、演奏会形式（ナレーション付き）で公演を行った。

【プログラム】

第1部

ビゼー／オペラ「カルメン」ハイライト

第2部

モーツアルト／歌劇「フィガロの結婚」序曲、「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」

マスカーニ／歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」より 間奏曲

ヴェルディ／歌劇「リゴレット」より “女心の歌”

ドヴォルザーク／チェコ組曲より ポルカ

ドヴォルザーク／歌劇「ルサルカ」より “月に寄せる歌”

【アンコール】

ビゼー：「アルルの女」より ファランドール

事業内容

経費状況

収入 416,295円 支出 230,333円 収益率 180.7%

アンケート結果
・初めてオーケストラを生で聞いたけど家で聞くよりも迫力がすごかったです。クラシックは大好きでオペラもたまに聞くけど今日は生でとても最高でした。オペラを歌っている人の声の響きや指揮の人の動きがとってもかっこよかったです。オーケストラと指揮がとてもあっていてかっこよかったです。最後のファランドールも最高でした。

・クラシックに全く詳しくないけどクラシックコンサートの雰囲気が大好きな私にぴったりの公演でした。オペラのいいとこ取り、ナレーション、司会、とても良かったです。素人にはお話しがあると大変聞きやすいです。

成 果

セントラル愛知交響楽団との共催によりコンサート形式でオペラ公演を開催した。前半は人気のオペラ「カルメン」をナレーション付きの1時間程度のダイジェストで、後半は有名なオペラアリアとオペラに縁のある作曲家の作品を演奏した。「カルメン」は歌手が衣装を着けて演技を交えて歌うなど、オペラさながらの雰囲気で、アンケートでも「歌手の演技力も歌唱もすばらしい」「カルメンの世界に引き込まれた」「オペラが一気に身近になりました」といった感想が寄せられた。またアンケートからも、公演の満足度の高さがうかがわれた。アーラでは演奏機会の少ないオペラを上演できたということでオペラファンの期待に応える公演となった。



5 その他公益目的事業

事 業 名

私のあしながおじさんプロジェクト

目 的

地元企業・団体・個人から寄付を募り、それをもとに中高生へ舞台芸術に触れる機会を創出する。また、可児市「要保護及び準要保護児童生徒就学援助費」または「児童扶養手当」を受給している家族（小学生以上の子どもと保護者）を対象とした「私のあしながおじさんプロジェクト For Family」を市教育委員会、市福祉支援課協力のもと実施し、社会的弱者である家庭へ舞台芸術鑑賞機会を用意することで、社会包括機関としてのアーラの役割を果たす。

対 象 事 業

- ①チェコ・フィルハーモニー・ゾリストン with 吉鷹奈津子
- ②新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによるオーブン・シアター・コンサート
- ③文学座公演「オセロー」
- ④ウイーン V. ルジェリウスピアノ三重奏団
- ⑤かに寄席（納涼）
- ⑥新日本フィルメンバーと仲間たち
- ⑦森山威男ジャズナイト featuring 矢野顯子
- ⑧alaCollection シリーズ vol. 15 「いびしない愛」
- ⑨オペラハイライト「カルメン」
- ⑩シリーズ恋文 vol. 14
- ⑪新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2025 「新世界」
- ⑫かに寄席（初席）

あしなが
おじさん

信和工業（株）、丸理印刷（株）、（株）トイ・ファーム、長江興産（株）、可児ライオンズクラブ、市原産業（株）、（株）中日総合防災、（有）亀谷電気商会、東濃建物管理（株）、丸茂電機（株）、東濃信用金庫、（株）ワズプランニング、ヤマハサウンドシステム（株）、（株）新和建設、可児金融協会、カヤバ（株）、（株）三菱UFJ、個人2人

参 加 者

鑑賞者 延べ 262人

事 業 内 容

企業・団体・個人から寄付をいただき、その金額分を公募した中高生、学校へ行きたくても行けない子どもたちの通うスマイルinguームの児童・生徒、就学援助費・児童扶養手当を受給する家庭にチケットとしてプレゼントし、公演を鑑賞していただいた。また、鑑賞後子どもたちからあしながおじさんへ毎回手紙を書いていただいた。

アンケート
結 果

- ・心の汚れがパッと落ちていくかのような「笑い」で本日は心も体も爽快でございます。これ以上ない経験でした。（「かに寄席 納涼」鑑賞 高校1年生）
- ・姉妹、家族、他人との関係や能力などのギャップが辛くて、でもすごく共感できて、そういう人それぞれ課題と向き合う姿に、勇気とか希望をもらいました。（「ala Collectionシリーズvol.15 「いびしない愛」」鑑賞 高校2年生）
- ・普段生のオーケストラの演奏を聴く機会がないので、目の前で聴くオーケストラの演奏はとてもきれいな音で、本物の音は違うなあと思いました。（「新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート2025 「新世界」」鑑賞 中学2年生・For Family）

成 果

前年度よりも鑑賞者が増え、過去最多を更新し、For family 制度での鑑賞者も昨年よりも増加した。協賛企業・団体・個人の数は、過去に寄付のあった企業等に営業活動を行い、昨年度よりは少ないものの継続して寄付していただくことができた。

また、前年度に引き続き三菱UFJ銀行主催の社会貢献プロジェクト「MUFG SOUL」に選ばれ、寄付金に加え、三菱UFJ銀行多治見支店の社員に「私のあしながおじさん」や「アーラ・イルミネーション」に関わる仕事（チケット贈呈式への参加、チケット渡し、点灯式への参加等）を体験してもらうことができた。「アーラまち元気部」「アーラみんなのピアノプロジェクト」に加えて「アーラ・イルミネーション」への寄付の活用も行い、これまで以上に子ども達への支援の幅が広がった。

例年鑑賞者の少ない寄席や演劇公演は、他事業と合わせて広報を行ったり別途県内の演劇部に募集をしたり、広報面で工夫をした結果、鑑賞者の増加につながった。



6 新聞掲載記事

掲載日		掲載紙	掲載事業
令和5年	3月20日	朝日新聞	音楽の絵本 Brillante公演情報
	5月7日	朝日新聞	「高校演劇」発の物語「フートボールの時間」
	5月23日	岐阜新聞	チェコ・フィルハーモニー・ゾリストンwith吉鷹奈津子
	5月号	MEG	王道”文学座のシェイクスピア”で「オセロー」を堪能！
	6月30日	赤旗	文学座公演「オセロー」デズモーナ役saraさん
	6月号	MEG	トークと演奏会 長谷川彰子×脇屋冴子
	7月6日	朝日新聞	三谷幸喜のありふれた生活 横田栄司さん
	7月19日	岐阜新聞	歌舞伎と落語～素晴らしい古典芸能～
	7月27日	中日新聞	清流の国ぎふ総文2024 7/31～8/5
	8月22日	中日新聞	多治見出身・長谷川さんら可児・アーラで24日演奏会
	8月24日	中日新聞	可児のアーラ来月8、16日に養成講座
	9月1日	岐阜新聞	アーラで14日「夢みる小学校」上映会
	9月14日	中日新聞	可児の森山さんがジャズライブ
	9月14日	中日新聞	「いびしない愛」マキノさんら制作発表
	9月14日	岐阜新聞	制作発表 マキノノゾミさん演出、南沢奈央さん主演
	9月26日	岐阜新聞	アーラ・キネマ俱楽部
	10月3日	中日新聞	滞在中の俳優らPR
	10月9日	中日新聞	可児発の演劇 きょう開幕
	10月31日	岐阜新聞	一五一会フェス
	11月3日	中日新聞	「エイブルアート展」
	11月6日	中日新聞	可児歌舞伎公演 公募の市民ら熱演
	11月7日	中日新聞	来月6～8日 可児で「アーラ映画祭」
	11月20日	中日新聞	可児市美術展きょう開幕 5部門の最高位決定
	11月20日	岐阜新聞	可児市美術展きょう開幕
	11月24日	岐阜新聞	可児市の劇場「アーラ」
	11月26日	中日新聞	可児市文芸祭 短歌や俳句 優秀作展示
令和6年	12月5日	岐阜新聞	アーラ・イルミネーション
	12月11日	中日新聞	アーラ彩る光の芸術 復活
	12月20日	岐阜新聞	アーラでイルミ復活
	12月29日	中日新聞	光 アーラに4年ぶり復活
	1月16日	岐阜新聞	名作映画観賞会
	1月22日	中日新聞	芸術にふれる機会を「私のあしながおじさんプロジェクト」
	1月22日	岐阜新聞	アーラの公演チケットプレゼント
	2月13日	岐阜新聞	市民参加、16日にアーラで公演
	2月15日	読売新聞	多文化共生 舞台で表現
	2月19日	朝日新聞	倍賞千恵子コンサート
	2月20日	中日新聞	可児 アーラで舞台作品上演
	2月23日	中日新聞	人気のビッグバンド あす可児で舞台公演
	2月23日	岐阜新聞	ビッグバンド「渋さ知らズ」あす公演
	2月28日	中日新聞	9日可児「祈りのコンサート」
	3月6日	岐阜新聞	祈りのコンサート2025

7 アーラフレンドシップ会員集計表

令和7年3月31日現在

(1) 地域別集計表

(単位：人)

岐阜県	令和5年度	令和6年度	増減	愛知県	令和5年度	令和6年度	増減
可児市	6,835	7,167	332	名古屋市	1,229	1,351	122
美濃加茂市	1,302	1,371	69	犬山市	563	606	43
多治見市	1,474	1,579	105	春日井市	299	319	20
加茂郡	940	993	53	江南市	118	126	8
可児郡	595	623	28	一宮市	175	191	16
各務原市	600	650	50	小牧市	153	165	12
岐阜市	533	588	55	その他	1,231	1,346	115
土岐市	330	362	32	愛知県計	3,768	4,104	336
関市	329	356	27				0
瑞浪市	86	94	8	他県計	1,604	1,755	151
大垣市	83	88	5				
美濃市	40	44	4	合計	19,039	20,357	1,318
中津川市	83	94	11				
恵那市	53	58	5				
その他	384	431	47				
岐阜県計	13,667	14,498	831				

(2) 男女別集計表

(単位：人)

年齢構成	令和5年度			令和6年度				増減		
	男	女	計	男	女	計	構成比	男	女	計
0～9歳	4	4	8	4	3	7	0.03%	0	△ 1	△ 1
10～19歳	32	63	95	29	66	95	0.47%	△ 3	3	0
20～29歳	140	372	512	143	375	518	2.54%	3	3	6
30～39歳	478	1,169	1,647	469	1,183	1,652	8.12%	△ 9	14	5
40～49歳	1,077	2,752	3,829	1,096	2,845	3,941	19.36%	19	93	112
50～59歳	1,551	2,810	4,361	1,596	3,028	4,624	22.71%	45	218	263
60～69歳	1,830	2,447	4,277	2,030	2,691	4,721	23.19%	200	244	444
70～79歳	1,504	1,585	3,089	1,647	1,757	3,404	16.72%	143	172	315
80～89歳	467	571	1,038	541	635	1,176	5.78%	74	64	138
90歳以上	67	116	183	84	135	219	1.08%	17	19	36
合計	7,150	11,889	19,039	7,639	12,718	20,357	100.00%	489	829	1,318

IV 施設概要

可児市文化創造センター a | a 施設概要

■施設の規模

敷地面積 35,344.54 m²
建築面積 8,743.29 m²
延床面積 18,410.87 m²
構造 鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造
駐車台数 437 台 一般 388 台、身障者用 4 台
関係者用 21 台（うち大型用 4 台）、身障者用 3 台
レストラン 一般 19 台、身障者用 2 台

■施設の特色

二つの多目的ホールと様々な文化創造空間・練習施設を持ち、建設・運営に市民参加を取り入れた総合文化施設

■客席収容人数

主劇場（宇宙のホール）

客席総数	1,019 席
	1 階席 691 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席
オーケストラピット使用時	876 席
	1 階席 548 席
	2 階席 161 席
	3 階席 167 席

この他に車椅子席 4 席

小劇場（虹のホール）

客席総数	311 席
	1 階席 263 席
	2 階席 48 席
スラストステージ使用時	221 席
	1 階席 173 席
	2 階席 48 席

この他に車椅子席 2 席

■諸室

部屋	面積等
音楽ロフト	約 196 m ²
演劇ロフト	約 210 m ²
美術ロフト	約 238 m ²
演劇練習室	約 88 m ²
映像シアター	約 115 m ²
水と緑の広場	約 3,000 m ²
音楽練習室①	約 27 m ²
音楽練習室②	約 20 m ²
音楽練習室③	約 20 m ²
ギャラリー	約 61.5 m ²
木工作業室	約 70 m ²
ワークショッフルーム（洋室）	約 100 m ²
ワークショッフルーム（和室）	約 52 m ²
研修室	約 48 m ²
レセプションホール	約 235 m ²
会議室	約 20 m ²
控室	約 13.5 m ²

**公益財団法人可児市文化芸術振興財団
ア ニ ュ ア ル レ ポ ー ト 2 0 2 4**

発行:公益財団法人可児市文化芸術振興財団

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433 番地 139

TEL:0574-60-3311 FAX:0574-60-3312

<https://www.kpac.or.jp>

発行日:令和 7 年 8 月

